

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 5 年 9 月 23 日現在

機関番号：62611

研究種目：新学術領域研究(研究領域提案型)

研究期間：2017～2021

課題番号：17H06320

研究課題名(和文)南極氷床と気候の変動及び相互作用

研究課題名(英文)Variations and interactions of climate and the Antarctic Ice Sheet

研究代表者

川村 賢二(Kawamura, Kenji)

国立極地研究所・先端研究推進系・准教授

研究者番号：90431478

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 143,960,000円

研究成果の概要(和文)：東南極を中心に現場観測や衛星データ解析、アイスコアの分析を行い、現在から氷期-間氷期スケールまでの南極氷床変動や、南極と全球気候の関係等を解明した。棚氷の熱水掘削による観測や、広域の表面質量収支、基盤・表面地形等の観測が成功し、ドームふじアイスコアによる年代制約と古環境復元などの成果を得た。氷床末端でのダイナミクスや、氷床質量と気候変動の関連の理解が進んだ上、他班との連携による南極氷床の実態と変動の解明や気候モデル検証への寄与なども着実に進捗した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

棚氷の熱水掘削による観測や、広域の表面質量収支、基盤・表面地形等の観測が成功し、過去の復元では、ドームふじアイスコアによる年代制約と古環境復元や、地形地質調査・試料解析による過去数万年間の氷床変動の規模とタイミングの制約など、学術的意義の大きい成果を得た。氷床質量と気候変動の関連の理解が進んだ上、他班との連携による南極氷床の実態と変動の解明や気候モデル検証への寄与なども進捗した。棚氷融解過程や過去の気候変動の理解は、今後の予測精度を高め、南極環境に対する気候影響の緩和や対応などの検討や、人々の意識の変化につながり得るものである。

研究成果の概要(英文)：Field observations, satellite data analysis, and ice core analyses have been conducted, primarily focusing on East Antarctica. Through these efforts, the dynamics of the Antarctic ice sheet and its relationship with global climate have been elucidated, spanning from the present to glacial-interglacial scales. Successful data acquisitions have been made through hot-water drilling in ice shelves, and the observations of surface mass balance, bedrock topography and surface topography. The achievements also include age constraints and paleoenvironmental reconstructions using the Dome Fuji ice core. Advances have been made in understanding of dynamics at the marine-terminating ice sheet and the relationship between ice sheet mass and climate change. Furthermore, collaboration with other research groups has contributed to the understanding of the status and changes of the Antarctic ice sheet as well as validating numerical models.

研究分野：古気候学

キーワード：南極氷床 アイスコア・氷床コア 氷河・氷床 氷床-海洋相互作用 気候変動

様式 C-19、F-19-1、Z-19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

南極氷床は、海水準で約 60 m に相当する最大の淡水リザーバであり、その気候変化に対する応答の量と速度は、科学的・社会的に重大な関心事となっている (IPCC 評価報告書)。南極氷床と気候の変動には様々な時間スケールでの相互作用が関わる。南極氷床の質量損失には、氷河末端の崩落や冰山分離、氷床から海に張り出した氷 (棚氷) の下に流れ込む暖水による底面融解、それらによる氷流加速が重要である。そのため、棚氷底面融解の定量化や暖水貫入プロセスの解明が急務だが、氷の下の観測は困難であり研究が進んでいない。棚氷に穴を開けて氷上から海中を観測した実績があるが、この手法のみでは調査範囲が限定される。そのため、多点の掘削に加えて水中探査機によって海氷下の海洋を広範囲に観測する必要がある。温暖化には降雪を増加させる効果もあり、東南極の一部で氷床質量が増加傾向にあるのはそのためであると推察される。しかし、広大な面積を持つ東南極における表面質量収支の推定誤差は大きく、南極氷床全体としての質量の増減については近年激しい論争が起こっている。そのため、温暖化による氷床変動のタイミングと速度を予測する上で、表面質量収支の時空間変動の理解が不可欠である。過去を振り返ると、約 12.5 万年前の最終間氷期には、南極氷床が縮小して海面を数 m 上昇させたと考えられているが、その原因の解明や氷床モデルによる再現は成功しておらず、将来予測にとって重大な懸念となっている。また、南大洋は、全球エネルギー収支を左右する莫大な熱のリザーバであり、CO₂ の最大のリザーバでもある。南極氷床コアから、氷期-間氷期サイクルにおける海水準と南極気温、CO₂ 濃度変動の同期性が示されているが、メカニズムは数十年來の謎である。その解明には、過去の南極環境を高い時間分解能で復元し、正確な年代を与えた上で解析する必要がある。

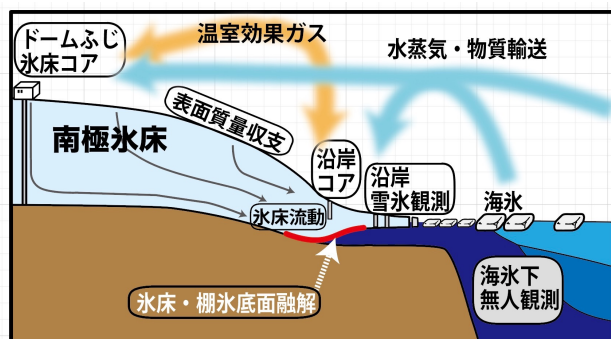
2. 研究の目的

下記の点に的を絞り、南極氷床と気候の変動及び相互作用に関して研究する (下図を参照)。

(1) 長期気候と氷床の相互作用。第 2 期ドームふじ氷床コアの気体や水同位体、不純物等を分析し、最終間氷期から現在に至る大気組成と気候変動を復元する。また、特に現在より暖かい「スーパー間氷期」に着目し、ドームふじコア分析から古気候変動を復元する。これらを地球システムモデルに提供し、気候・氷床の変動と相互作用を解明する。また、氷床コア分析から過去 1000 年以上の涵養量等の環境データを取得し、気候強制力との関連を明らかにする。

(2) 氷床末端と海洋の相互作用。氷床縁辺部の総合観測と衛星・既存データの解析により、氷床表面の質量収支と流動、棚氷・海洋相互作用の理解を進める。氷床と棚氷上での雪氷観測や、掘削孔からの棚氷下観測などから、棚氷の底面融解や海水の物理化学特性、海洋循環等を把握し、測器の長期稼働により棚氷下環境の季節変化や年々変動を把握する。

氷床班



本研究の対象領域と主な環境要素。枠内に主な観測・実施項目を示す。

3. 研究の方法

平成 29 年度：分析手法や測器の開発と改良を実施するとともに、気候シグナルや気体の氷床への記録過程の理解を進めるほか、ドームふじコアの解析を開始する。また、ラングホブデ氷河と棚氷の観測を実施する。

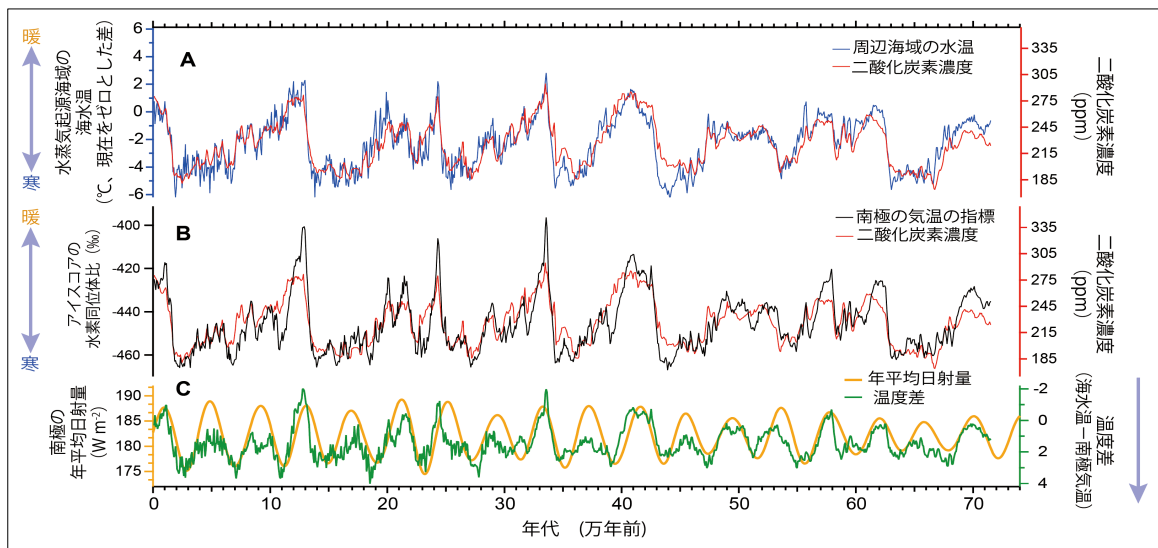
平成 30 年度以降：長期気候データの確立のため、ドームふじ氷床コアを分析し、特に最終間氷期以降や約 40 万年前の「スーパー間氷期」など研究の狙いを定めてデータを取得する。100 万

年スケールにおいては、海底コアのデータから CO₂ 濃度を復元する。気候モデルの計算結果や多地域の古環境データと比較することを通じて、気候・氷床の変動と相互作用の理解やモデルの検証を進める。南極内陸のレーダー探査や雪尺観測等の雪氷調査から現在の氷床における涵養や流動に関する知見を得る。また、昭和基地近傍での氷河氷床と海洋の観測により、表面質量収支や氷床流動、棚氷底面融解、海水の物理化学特性、海洋循環の把握、生物・地質の海底調査、海底堆積物採取等を実施する。測器を長期稼働して氷床表面と棚氷下環境の季節変化や年々変動も把握する。さらに衛星データなどから氷床表面標高や氷河流動速度、棚氷末端位置、海水密度等を過去数十年にわたって明らかにする。

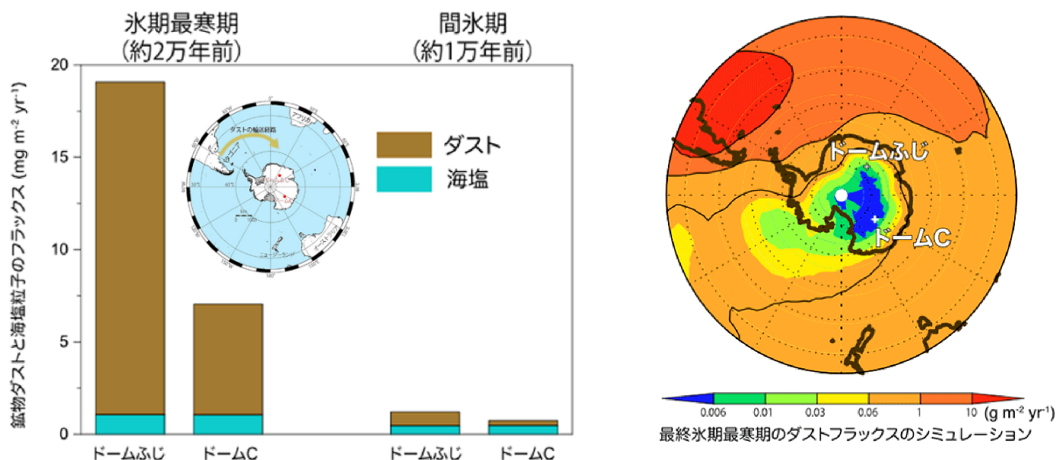
4. 研究成果

(1) アイスコアによる古気候研究 (A04 モデル班、B03 公募連携)

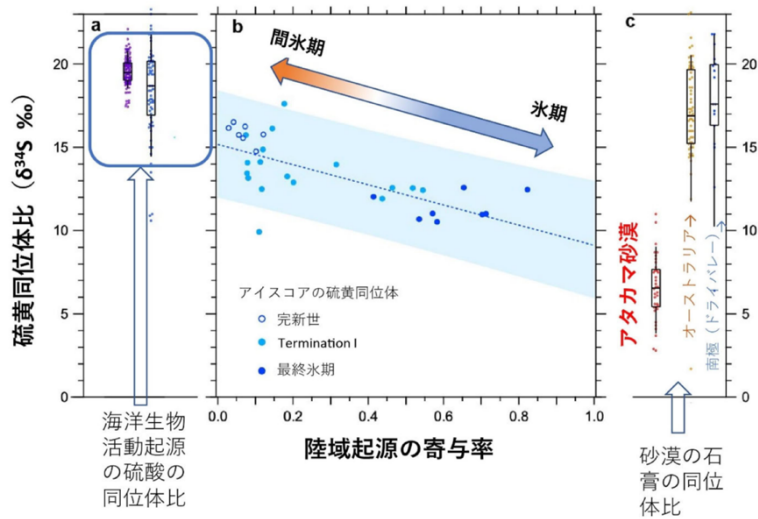
ドームふじアイスコアの酸素・水素同位体比の解析による 72 万年間にわたる南極の気温と南大洋中緯度の海面水温の復元や、両極間の大気と海洋を通じた気候リンクの解明、希ガス濃度による最終退氷期の全球平均海水温復元と南極の気温変動との調和性の解明、エアロゾルとダストの供給源や大気輸送の解明、最終氷期最寒期の地表気温と氷床高度の推定値の刷新と気候モデルの妥当性の証明など、多様な成果を得た。



72 万年間の南極の気温と南大洋の温度 (Uemura et al., 2018)



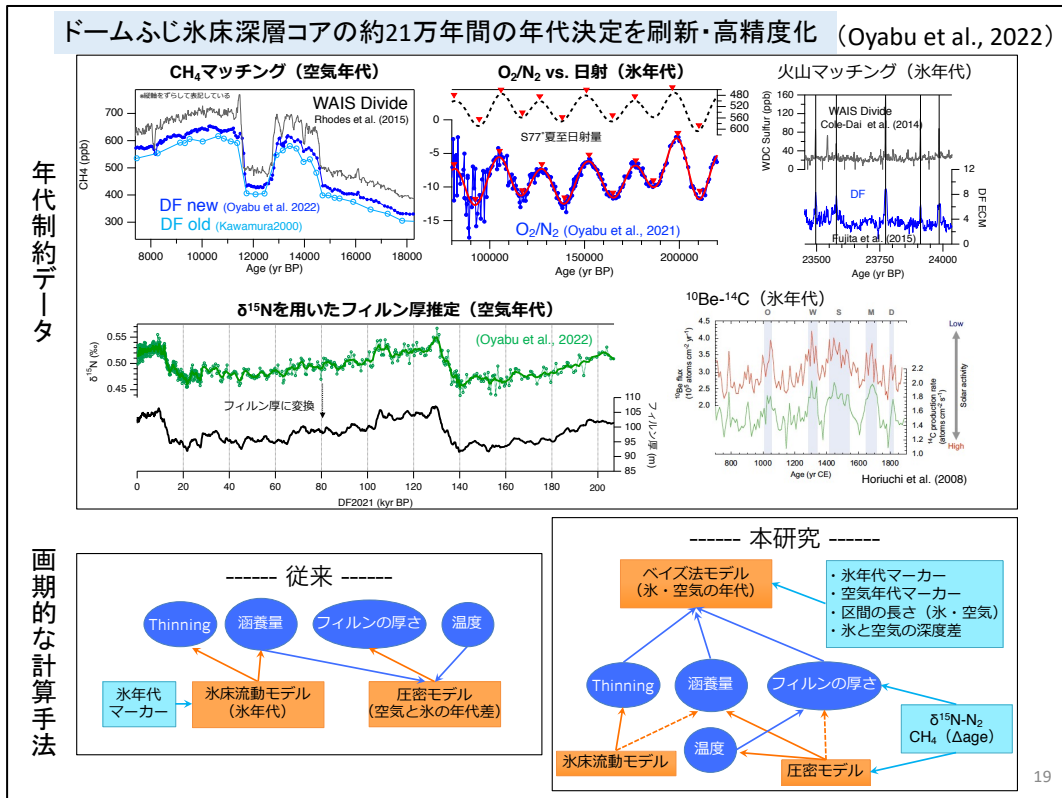
南極の 2 地点のアイスコアから得られたダスト飛来量と、シミュレーション結果との比較(Oyabu et al., 2020)



硫黄同位体比の解析による氷期の硫酸エアロゾル起源の解明 (南米アタカマ砂漠の寄与) (Uemrua et al., 2021)

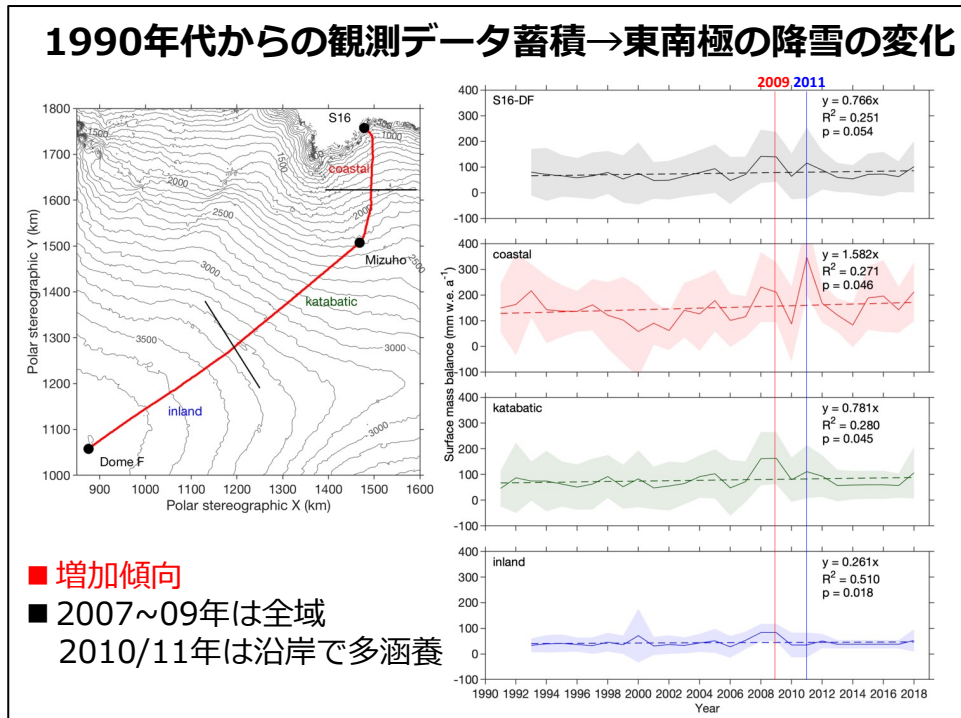
(2) アイスコア年代構築と海底コアとの年代統合 (A01-2 古海洋班、B03 公募連携)

酸素/窒素比とメタン濃度などの気体成分分析から、スーパー間氷期を含む 17 万年前間の年代精度を大幅に向上させた。また、メタン濃度とダストの連続データ取得 (この時代の深層コアとして世界初) や、古海洋班との連携によるダストデータを用いた年代統合など、年代構築と対比に関する成果が得られた。



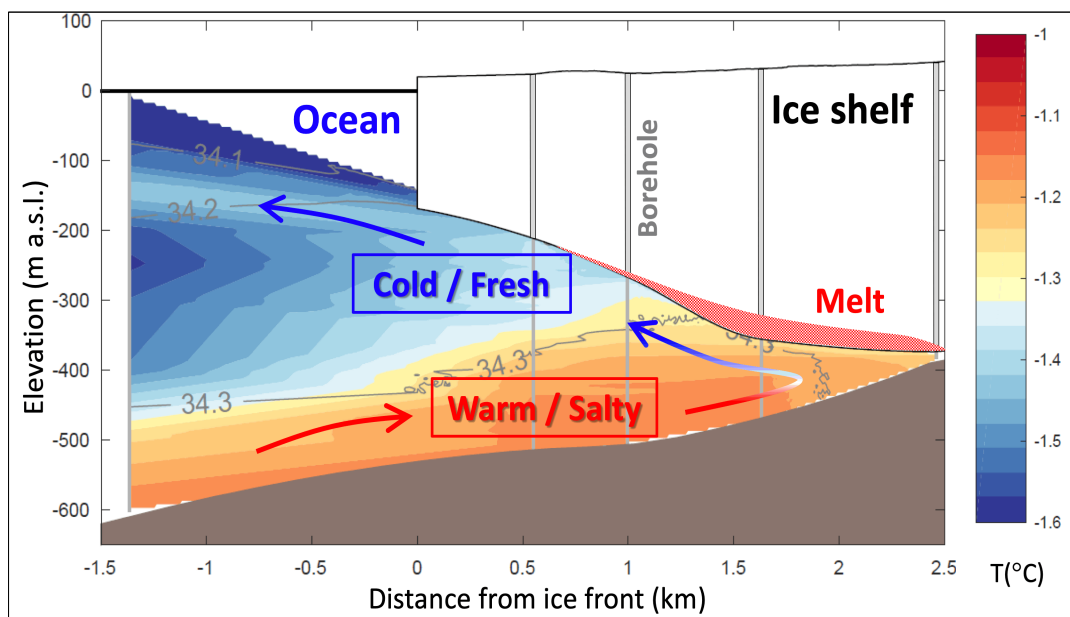
(3) 広域の表面質量収支と氷床基盤地形 (B01 公募、A04 モデル班、A02-2 固体地球班連携)

東南極氷床の表面質量収支と表面形状、基盤地形の広域調査を実施し、過去に取得されたデータと合わせて解析した。今後長期にわたる氷床動態把握に必須であり、質量変動メカニズムに関する分野間連携研究に資する世界最長データとして整備した。その結果、東南極で質量が増加している地域においては、1990年以降の表面質量収支が沿岸から内陸までの広域で、有意に増加傾向にあることを明らかにした。



(4) ラングホブデ氷河の熱水掘削による氷床-海洋相互作用の観測研究 (A01-1 底層水班、A02-2 固体地球班、A01-3 生態系班連携)

熱水掘削孔から棚氷内部や底面、氷下の海洋を観測し、海洋の暖水が棚氷の下に浸入して氷を大量に融解し、融解水と混合しながら表面に浮き上がって出ていく様相や、氷河流出速度との関係などを解明した。



ラングホブデ氷河下の暖水移流と融解過程 (Minowa et al., 2021)

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計80件（うち査読付論文 70件 / うち国際共著 45件 / うちオープンアクセス 42件）

1. 著者名 Minowa Masahiro, Sugiyama Shin, Ito Masato, Yamane Shiori, Aoki Shigeru	4. 巻 12
2. 論文標題 Thermohaline structure and circulation beneath the Langhovde Glacier ice shelf in East Antarctica	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-021-23534-w	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Uemura Ryu, Masaka Kosuke, Iizuka Yoshinori, Hirabayashi Motohiro, Matsui Hitoshi, Matsumoto Risei, Uemura Miki, Fujita Koji, Motoyama Hideaki	4. 巻 578
2. 論文標題 Soluble salts in deserts as a source of sulfate aerosols in an Antarctic ice core during the last glacial period	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	6. 最初と最後の頁 117299 ~ 117299
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2021.117299	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Oyabu Ikumi, Kawamura Kenji, Fujita Shuji, Inoue Ryo, Motoyama Hideaki, Fukui Kotaro, Hirabayashi Motohiro, Hoshina Yu, Kurita Naoyuki, Nakazawa Fumio, Ohno Hiroshi, Sugiura Konosuke, Suzuki Toshitaka, Tsutaki Shun, Abe-Ouchi Ayako, Niwano Masashi, Parrenin Frederic, Saito Fuyuki, Yoshimori Masakazu	4. 巻 19
2. 論文標題 Temporal variations of surface mass balance over the last 5000 years around Dome Fuji, Dronning Maud Land, East Antarctica	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Climate of the Past	6. 最初と最後の頁 293 ~ 321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/cp-19-293-2023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Oyabu Ikumi, Kawamura Kenji, Uchida Tsutomu, Fujita Shuji, Kitamura Kyotaro, Hirabayashi Motohiro, Aoki Shuji, Morimoto Shinji, Nakazawa Takakiyo, Severinghaus Jeffrey P., Morgan Jacob D.	4. 巻 15
2. 論文標題 Fractionation of O ₂ /N ₂ and Ar/N ₂ in the Antarctic ice sheet during bubble formation and bubble-clathrate hydrate transition from precise gas measurements of the Dome Fuji ice core	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 5529 ~ 5555
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-15-5529-2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Buizert Christolほか	4. 巻 372
2. 論文標題 Antarctic surface temperature and elevation during the Last Glacial Maximum	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Science	6. 最初と最後の頁 1097 ~ 1101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1126/science.abd2897	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Van Liefferinge Briceほか	4. 巻 48
2. 論文標題 Surface Mass Balance Controlled by Local Surface Slope in Inland Antarctica: Implications for Ice Sheet Mass Balance and Oldest Ice Delineation in Dome Fuji	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2021GL094966	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Oka Akira, Abe-Ouchi Ayako, Sherriff-Tadano Sam, Yokoyama Yusuke, Kawamura Kenji, Hasumi Hiroyasu	4. 巻 2
2. 論文標題 Glacial mode shift of the Atlantic meridional overturning circulation by warming over the Southern Ocean	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Communications Earth & Environment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s43247-021-00226-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uchida Tsutomu, Shigeyama Wataru, Oyabu Ikumi, Goto-Azuma Kumiko, Nakazawa Fumio, Homma Tomoyuki, Kawamura Kenji, Dahl-Jensen Dorthe	4. 巻 68
2. 論文標題 Discovery of argon in air-hydrate crystals in a deep ice core using scanning electron microscopy and energy-dispersive X-ray spectroscopy	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Glaciology	6. 最初と最後の頁 547 ~ 556
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/jog.2021.115	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Umezawa Taku, Sugawara Satoshi, Kawamura Kenji, Oyabu Ikumi, Andrews Stephen J., Saito Takuya, Aoki Shuji, Nakazawa Takakiyo	4. 巻 22
2. 論文標題 Towards reconstructing the Arctic atmospheric methane history over the 20th century: measurement and modelling results for the North Greenland Ice Core Project firn	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Atmospheric Chemistry and Physics	6. 最初と最後の頁 6899 ~ 6917
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/acp-22-6899-2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Matsui Hiroki, Ikehara Minoru, Sugauma Yusuke, Seki Osamu, Oyabu Ikumi, Kawamura Kenji	4. 巻 286
2. 論文標題 Dust correlation and oxygen isotope stratigraphy in the Southern Ocean over the last 450 kyrs: An Indian sector perspective	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 107508 ~ 107508
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2022.107508	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Lee Giyeon, Ahn Jinho, Ju Hyeontae, Ritterbusch Florian, Oyabu Ikumi, Buizert Christo, Kim Songyi, Moon Jangil, Ghosh Sambit, Kawamura Kenji, Lu Zheng-Tian, Hong Sangbum, Han Chang Hee, Hur Soon Do, Jiang Wei, Yang Guo-Min	4. 巻 16
2. 論文標題 Chronostratigraphy of the Larsen blue-ice area in northern Victoria Land, East Antarctica, and its implications for paleoclimate	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 2301 ~ 2324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-16-2301-2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Morgan Jacob D., Buizert Christo, Fudge Tyler J., Kawamura Kenji, Severinghaus Jeffrey P., Trudinger Cathy M.	4. 巻 16
2. 論文標題 Gas isotope thermometry in the South Pole and Dome Fuji ice cores provides evidence for seasonal rectification of ice core gas records	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 2947 ~ 2966
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-16-2947-2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tsutaki Shun, Fujita Shuji, Kawamura Kenji, Abe-Ouchi Ayako, Fukui Kotaro, Motoyama Hideaki, Hoshina Yu, Nakazawa Fumio, Obase Takashi, Ohno Hiroshi, Oyabu Ikumi, Saito Fuyuki, Sugiura Konosuke, Suzuki Toshitaka	4. 巻 16
2. 論文標題 High-resolution subglacial topography around Dome Fuji, Antarctica, based on ground-based radar surveys over 30 years	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 2967 ~ 2983
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-16-2967-2022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oyabu Ikumi, Kawamura Kenji, Buizert Christo, Parrenin Frederic, Orsi Anais, Kitamura Kyotaro, Aoki Shuji, Nakazawa Takakiyo	4. 巻 294
2. 論文標題 The Dome Fuji ice core DF2021 chronology (0-207 kyr BP)	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 107754 ~ 107754
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2022.107754	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Horiuchi Kazuho, Kato Shinji, Ohtani Kou, Kurita Naoyuki, Tsutaki Shun, Nakazawa Fumio, Motoyama Hideaki, Kawamura Kenji, Tazoe Hirofumi, Akata Naofumi, Yamagata Takeyasu, Matsuzaki Hiroyuki	4. 巻 533
2. 論文標題 Spatial variations of 10Be in surface snow along the inland traverse route of Japanese Antarctic Research Expeditions	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 61 ~ 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2022.10.018	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bourbonnais Annie, Ho Sze Ling, Kinnard Christophe, Lenaerts Jan T. M., Sugiyama Shin, Altabet Mark	4. 巻 2
2. 論文標題 Global change on the Blue Planet	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Communications Earth & Environment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s43247-021-00227-2	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Oyabu Ikumi, Kawamura Kenji, Kitamura Kyotaro, Dallmayr Remi, Kitamura Akihiro, Sawada Chikako, Severinghaus Jeffrey P., Beaudette Ross, Orsi Anais, Sugawara Satoshi, Ishidoya Shigeyuki, Dahl-Jensen Dorte, Goto-Azuma Kumiko, Aoki Shuji, Nakazawa Takakiyo	4. 巻 13
2. 論文標題 New technique for high-precision, simultaneous measurements of CH ₄ , N ₂ O and CO ₂ concentrations; isotopic and elemental ratios of N ₂ , O ₂ and Ar; and total air content in ice cores by wet extraction	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Atmospheric Measurement Techniques	6. 最初と最後の頁 6703 ~ 6731
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/amt-13-6703-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Motoyama Hideaki, Takahashi Akiyoshi, Tanaka Yoichi, Shinbori Kunio, Miyahara Morihito, Yoshimoto Takayasu, Fujii Yoshiyuki, Furusaki Atsushi, Azuma Nobuhiko, Ozawa Yukio, Kobayashi Akio, Yoshise Yasushi	4. 巻 62
2. 論文標題 Deep ice core drilling to a depth of 3035.22 m at Dome Fuji, Antarctica in 2001-07	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Annals of Glaciology	6. 最初と最後の頁 212 ~ 222
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/amt-13-6703-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Talalay Pavel, Li Yazhou, Augustin Laurent, Clow Gary D., Hong Jialin, Lefebvre Eric, Markov Alexey, Motoyama Hideaki, Ritz Catherine	4. 巻 14
2. 論文標題 Geothermal heat flux from measured temperature profiles in deep ice boreholes in Antarctica	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 4021 ~ 4037
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/aog.2020.84	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Rodriguez-Morales Fernando, Braaten David, Trong Mai Hoang, Paden John, Gogineni Prasad, Yan Jie-Bang, Abe-Ouchi Ayako, Fujita Shuji, Kawamura Kenji, Tsutaki Shun, Van Liefferinge Brice, Matsuoka Kenichi, Steinhage Daniel	4. 巻 13
2. 論文標題 A Mobile, Multichannel, UWB Radar for Potential Ice Core Drill Site Identification in East Antarctica: Development and First Results	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IEEE Journal of Selected Topics in Applied Earth Observations and Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 4836 ~ 4847
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-14-4021-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mankoff Kenneth D., Noel Brice, Fettweis Xavier, Ahlstrom Andreas P., Colgan William, Kondo Ken, Langley Kirsty, Sugiyama Shin, van As Dirk, Fausto Robert S.	4. 巻 12
2. 論文標題 Greenland liquid water discharge from 1958 through 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Earth System Science Data	6. 最初と最後の頁 2811 ~ 2841
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/JSTARS.2020.3016287	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sugiyama Shin	4. 巻 56
2. 論文標題 Through the Japanese field research in Greenland: A changing natural environment and its impact on human society	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Polar Record	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/essd-12-2811-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi Yoshihiko, Aoki Shigeru, Matsumura Yoshimasa, Sugiyama Shin, Kanna Naoya, Sakakibara Daiki	4. 巻 16
2. 論文標題 Vertical distribution of water mass properties under the influence of subglacial discharge in Bowdoin Fjord, northwestern Greenland	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Ocean Science	6. 最初と最後の頁 545 ~ 564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S003224742000011X	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Matsuno K, Kanna N, Sugiyama S, Yamaguchi A, Yang EJ	4. 巻 642
2. 論文標題 Impacts of meltwater discharge from marine-terminating glaciers on the protist community in Inglefield Bredning, northwestern Greenland	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Marine Ecology Progress Series	6. 最初と最後の頁 55 ~ 65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/os-16-545-2020	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Podolskiy Evgeny A., Sugiyama Shin	4. 巻 125
2. 論文標題 Soundscape of a Narwhal Summering Ground in a Glacier Fjord (Inglefield Bredning, Greenland)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Oceans	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3354/meps13324	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kanna Naoya, Sugiyama Shin, Fukamachi Yasushi, Nomura Daiki, Nishioka Jun	4. 巻 34
2. 論文標題 Iron Supply by Subglacial Discharge Into a Fjord Near the Front of a Marine Terminating Glacier in Northwestern Greenland	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Global Biogeochemical Cycles	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020JC016116	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Podolskiy Evgeny A., Kanna Naoya, Sugiyama Shin	4. 巻 2
2. 論文標題 Co-seismic eruption and intermittent turbulence of a subglacial discharge plume revealed by continuous subsurface observations in Greenland	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Communications Earth & Environment	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2020GB006567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Minowa Masahiro, Schaefer Marius, Sugiyama Shin, Sakakibara Daiki, Skvarca Pedro	4. 巻 561
2. 論文標題 Frontal ablation and mass loss of the Patagonian icefields	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Earth and Planetary Science Letters	6. 最初と最後の頁 116811 ~ 116811
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s43247-021-00132-8	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kondo Ken, Sugiyama Shin, Sakakibara Daiki, Fukumoto Shungo	4. 巻 67
2. 論文標題 Flood events caused by discharge from Qaanaaq Glacier, northwestern Greenland	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Glaciology	6. 最初と最後の頁 500 ~ 510
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.epsl.2021.116811	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 van Dongen Eef C. H., Juvet Guillaume, Sugiyama Shin, Podolskiy Evgeny A., Funk Martin, Benn Douglas I., Lindner Fabian, Bauder Andreas, Seguinot Julien, Leinss Silvan, Walter Fabian	4. 巻 15
2. 論文標題 Thinning leads to calving-style changes at Bowdoin Glacier, Greenland	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 485 ~ 500
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/jog.2021.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hata Shuntaro, Sugiyama Shin	4. 巻 8
2. 論文標題 Changes in the Ice-Front Position and Surface Elevation of Glacier Pio XI, an Advancing Calving Glacier in the Southern Patagonia Icefield, From 2000-2018	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Frontiers in Earth Science	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/tc-15-485-2021	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 庭野匡思、青木輝夫、橋本明弘、大島長、梶野瑞王、大沼友貴彦、藤田耕史、山口悟、島田利元、竹内望、津滝俊、本山秀明、石井正好、杉山慎、平沢尚彦、阿部彩子	4. 巻 83
2. 論文標題 氷床表面質量収支の実態とそのモデリングの試み：2020年夏最新版	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 27 ~ 50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/seppyo.83.1_27	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 平沢尚彦、本山秀明、山田恭平、杉浦幸之助、栗田 直幸	4. 巻 83
2. 論文標題 AWSの積雪深計が観測する南極氷床表面堆積量の時間変化	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 67~77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/seppyo.83.1_67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 本山秀明	4. 巻 83(2)
2. 論文標題 雪氷写真館141:南極ドームふじ基地での第2期氷床深層コア掘削	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 i-ii
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎、箕輪昌紘、伊藤優人、山根志織	4. 巻 83
2. 論文標題 熱水掘削による南極氷床の底面環境探査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 13~25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/seppyo.83.1_13	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎、近藤研	4. 巻 83
2. 論文標題 グリーンランド北西部カナック村における 氷河流出河川の洪水	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 193~204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/seppyo.83.2_193	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 本山秀明、東久美子、鈴木啓助、武藤淳公、五十嵐誠、山崎哲秀、藤田秀二、斎藤健、渡辺原太、古崎睦、李院生、高橋昭好、鄭址雄、福井幸太郎、中澤文男、亀田貴雄、藤田耕史、大日方一夫、齊藤隆志、神山孝吉、木下淳、東信彦、田中洋一、中山芳樹、渡辺興亜、高田守昌、小澤行雄、小林明雄、吉瀬也寸志、新堀邦夫ほか	4. 巻 64
2. 論文標題 南極ドームふじ基地における第2期氷床深層コア掘削	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 南極資料	6. 最初と最後の頁 284 ~ 329
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/seppyo.83.2_193	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oyabu I., Iizuka Y., Kawamura K., Wolff E., Severi M., Ohgaito R., Abe Ouchi A., Hansson M.	4. 巻 125
2. 論文標題 Compositions of Dust and Sea Salts in the Dome C and Dome Fuji Ice Cores From Last Glacial Maximum to Early Holocene Based on Ice Sublimation and Single Particle Measurements	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Atmospheres	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15094/00016228	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Goto-Azuma K., Hirabayashi M., Motoyama H., Miyake T., Kuramoto T., Uemura R., Igarashi M., Iizuka Y., Sakurai T., Horikawa S., Suzuki K., Suzuki T., Fujita K., Kondo Y., Hattori S., Fujii Y.	4. 巻 10
2. 論文標題 Reduced marine phytoplankton sulphur emissions in the Southern Ocean during the past seven glacials	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019JD032208	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Menviel Laurie, Capron Emilie, Govin Aline, Dutton Andrea, Tarasov Lev, Abe-Ouchi Ayako, Drysdale Russell N., Gibbard Philip L., Gregoire Lauren, He Feng, Ivanovic Ruza F., Kageyama Masa, Kawamura Kenji, Landais Amaelle, Otto-Bliesner Bette L., Oyabu Ikumi, Tzedakis Polychronis C., Wolff Eric, Zhang Xu	4. 巻 12
2. 論文標題 The penultimate deglaciation: protocol for Paleoclimate Modelling Intercomparison Project (PMIP) phase 4 transient numerical simulations between 140 and 127 ka, version 1.0	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geoscientific Model Development	6. 最初と最後の頁 3649 ~ 3685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-019-11128-6	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Turney C.S.M., Fogwill C. J., Gollidge N.R., McKay N.P., van Sebille E., Jones R.T., Etheridge D., Rubino M., Thornton D.P., Davies S.M., Ramsey C.B., Thomas Z., Bird M.I., Munksgaard N.C., Kohno M., Woodward J., Winter K., Weyrich L.S., Rootes C.M., Millman H., Albert P.G., 5名略、Kawamura K., 他5名	4. 巻 117
2. 論文標題 Early Last Interglacial ocean warming drove substantial ice mass loss from Antarctica	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the National Academy of Sciences	6. 最初と最後の頁 3996 ~ 4006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5194/gmd-12-3649-2019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Hwang Heejin, Hur Soon Do, Lee Jeonghoon, Han Yeongcheol, Hong Sungmin, Motoyama Hideaki	4. 巻 669
2. 論文標題 Plutonium fallout reconstructed from an Antarctic Plateau snowpack using inductively coupled plasma sector field mass spectrometry	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Science of The Total Environment	6. 最初と最後の頁 505 ~ 511
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1073/pnas.1902469117	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 PHAM Kim Oanh, NORO Kazushi, NABESHIMA Yoshie, TANIGUCHI Tatsuya, FUJII Yusuke, ARAI Miho, SAKURAI Toshimitsu, KAWAMURA Kenji, MOTOYAMA Hideaki, TO Thi Hien, TAKENAKA Norimichi	4. 巻 37
2. 論文標題 Concentrations of polycyclic aromatic hydrocarbons in Antarctic snow polluted by research activities using snow mobiles and diesel electric generators	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Bulletin of Glaciological Research	6. 最初と最後の頁 23 ~ 30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.scitotenv.2019.03.105	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 SUGIYAMA SHIN, NAVARRO FRANCISCO J., SAWAGAKI TAKANOBU, MINOWA MASAHIRO, SEGAWA TAKAHIRO, ONUMA YUKIHIKO, OTERO JAIME, VASILENKO EVGENY V.	4. 巻 65
2. 論文標題 Subglacial water pressure and ice-speed variations at Johnsons Glacier, Livingston Island, Antarctic Peninsula	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Glaciology	6. 最初と最後の頁 689 ~ 699
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5331/bgr.19A02	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Minowa Masahiro, Podolskiy Evgeny A., Sugiyama Shin	4. 巻 60
2. 論文標題 Tide-modulated ice motion and seismicity of a floating glacier tongue in East Antarctica	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Annals of Glaciology	6. 最初と最後の頁 57~67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/jog.2019.45	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Yamane Masako, Nakamura Atsunori, Miyairi Yosuke, Horiuchi Kazuho, Aze Takahiro, Matsuzaki Hiroyuki, Shirahama Yoshiki, Ando Yuka	4. 巻 455
2. 論文標題 In-situ and meteoric 10Be and 26Al measurements: Improved preparation and application at the University of Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 260~264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/aog.2019.25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Rodriguez-Morales F., Carswell J., Gogineni P., Taylor R., Yan J., Abe-Ouchi A., Fujita S., Kawamura K., Tsutaki S., Liefveringe B. Van, Matsuoka K., Ailon H., Alvarez S., Braaten D., Karidi K.T., Paden A., Paden J., Shang J., Akins T.	4. 巻 N/A
2. 論文標題 A Compact Multi-Channel Radar for >1Ma Old Ice Core Site Identification in East Antarctica	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IGARSS 2019 - 2019 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	6. 最初と最後の頁 4161-4164
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2019.01.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Taylor Ryan A., Braaten David, Tsutaki Shun, Abe-Ouchi A., Fujita Shuji, Kawamura Kenji, Liefveringe Brice Van, Matsuoka Kenichi, Gogineni Sivaprasad, Gurbuz Sevgi, Kolpuke Shrinivas, Li Linfeng, O'Neill Charles, Yan Jie-Bang, Akins Torry, Carswell James	4. 巻 N/A
2. 論文標題 A Prototype Ultra-Wideband FMCW Radar for Snow and Soil-Moisture Measurements	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 IGARSS 2019 - 2019 IEEE International Geoscience and Remote Sensing Symposium	6. 最初と最後の頁 3974-3977
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1109/IGARSS.2019.8899781	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 川又基人, 菅沼悠介, 土井浩一郎, 澤柿教伸, 服部晃久	4. 巻 in press
2. 論文標題 氷河地形調査と表面露出年代測定に基づく東南極宗谷海岸南部 Skarvsnes における氷床後退過程の復元	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 地学雑誌	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kinase T., Adachi K., Oshima N., Goto Azuma K., Ogawa Tsukagawa Y., Kondo Y., Moteki N., Ohata S., Mori T., Hayashi M., Hara K., Kawashima H., Kita K.	4. 巻 125
2. 論文標題 Concentrations and Size Distributions of Black Carbon in the Surface Snow of Eastern Antarctica in 2011	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Geophysical Research: Atmospheres	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019JD030737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Buizert Christo, Sigl Michael, Severi Mirko, Markle Bradley R., Wettstein Justin J., McConnell Joseph R., Pedro Joel B., Sodemann Harald, Goto-Azuma Kumiko, Kawamura Kenji, Fujita Shuji, Motoyama Hideaki, Hirabayashi Motohiro, Uemura Ryu, Stenni Barbara, Parrenin Frederic, He Feng, Fudge T. J., Steig Eric J.	4. 巻 563
2. 論文標題 Abrupt ice-age shifts in southern westerly winds and Antarctic climate forced from the north	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 681 ~ 685
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2019JD030737	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Bereiter Bernhard, Kawamura Kenji, Severinghaus Jeffrey P.	4. 巻 32
2. 論文標題 New methods for measuring atmospheric heavy noble gas isotope and elemental ratios in ice core samples	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rapid Communications in Mass Spectrometry	6. 最初と最後の頁 801 ~ 814
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41586-018-0727-5	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Miyake F., Horiuchi K., Motizuki Y., Nakai Y., Takahashi K., Masuda K., Motoyama H., Matsuzaki H.	4. 巻 46
2. 論文標題 10Be Signature of the Cosmic Ray Event in the 10th Century CE in Both Hemispheres, as Confirmed by Quasi Annual 10Be Data From the Antarctic Dome Fuji Ice Core	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 11 ~ 18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/rcm.8099	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 De Deckker Patrick, Arnold Lee J., van der Kaars Sander, Bayon Germain, Stuut Jan-Berend W., Perner Kerstin, Lopes dos Santos Raquel, Uemura Ryu, Demuro Martina	4. 巻 204
2. 論文標題 Marine Isotope Stage 4 in Australasia: A full glacial culminating 65,000 years ago - Global connections and implications for human dispersal	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 187 ~ 207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GL080475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Bautista Angel T., Miyake Yasuto, Matsuzaki Hiroyuki, Iizuka Yoshinori, Horiuchi Kazuho	4. 巻 184-185
2. 論文標題 High-resolution 129 I bomb peak profile in an ice core from SE-Dome site, Greenland	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Environmental Radioactivity	6. 最初と最後の頁 14 ~ 21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2018.11.017	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Yokoyama Yusuke, Yamane Masako, Nakamura Atsunori, Miyairi Yosuke, Horiuchi Kazuho, Aze Takahiro, Matsuzaki Hiroyuki, Shirahama Yoshiki, Ando Yuka	4. 巻 455
2. 論文標題 In-situ and meteoric 10Be and 26Al measurements: Improved preparation and application at the University of Tokyo	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Nuclear Instruments and Methods in Physics Research Section B: Beam Interactions with Materials and Atoms	6. 最初と最後の頁 260 ~ 264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jenvrad.2017.12.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugiyama Shin、Minowa Masahiro、Schaefer Marius	4. 巻 46
2. 論文標題 Underwater Ice Terrace Observed at the Front of Glaciar Grey, a Freshwater Calving Glacier in Patagonia	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Geophysical Research Letters	6. 最初と最後の頁 2602 ~ 2609
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.nimb.2019.01.026	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Jouvet Guillaume、Weidmann Yvo、Kneib Marin、Detert Martin、Seguinot Julien、Sakakibara Daiki、Sugiyama Shin	4. 巻 217
2. 論文標題 Short-lived ice speed-up and plume water flow captured by a VTOL UAV give insights into subglacial hydrological system of Bowdoin Glacier	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Remote Sensing of Environment	6. 最初と最後の頁 389 ~ 399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1029/2018GL081441	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 MINOWA MASAHIRO、PODOLSKIY EVGENY A.、SUGIYAMA SHIN、SAKAKIBARA DAIKI、SKVARCA PEDRO	4. 巻 64
2. 論文標題 Glacier calving observed with time-lapse imagery and tsunami waves at Glaciar Perito Moreno, Patagonia	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Glaciology	6. 最初と最後の頁 362 ~ 376
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.rse.2018.08.027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Segawa Takahiro、Matsuzaki Ryo、Takeuchi Nozomu、Akiyoshi Ayumi、Navarro Francisco、Sugiyama Shin、Yonezawa Takahiro、Mori Hiroshi	4. 巻 9
2. 論文標題 Bipolar dispersal of red-snow algae	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 N/A
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/jog.2018.28	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 杉山慎, 箕輪昌紘, 伊藤優人, 山根志織	4. 巻 37
2. 論文標題 南極ラングホブデ氷河における熱水掘削	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 北海道の雪氷	6. 最初と最後の頁 7-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山根志織, 杉山慎, 箕輪昌紘, 伊藤優人	4. 巻 37
2. 論文標題 南極ラングホブデ氷河における氷河下の海洋環境	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 北海道の雪氷	6. 最初と最後の頁 75-58
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎	4. 巻 54
2. 論文標題 北極と南極における近年の氷河氷床変動	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 極地	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Suganuma Y., Haneda Y., Kameo K., Kubota Y., Hayashi H., Itaki T., Okuda M., Head M. J., Sugaya M., Nakazato H., Igarashi A., Shikoku K., Hongo M., Watanabe M., Satoguchi Y., Takeshita Y., Nishida N., Izumi K., Kawamura K., Kawamata M., Okuno J., Yoshida T., Ogitsu I., Yabusaki H., Okada M.	4. 巻 191
2. 論文標題 Paleoclimatic and paleoceanographic records through Marine Isotope Stage 19 at the Chiba composite section, central Japan: A key reference for the Early-Middle Pleistocene Subseries boundary	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary Science Reviews	6. 最初と最後の頁 406 ~ 430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quascirev.2018.04.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 植村 立	4. 巻 762
2. 論文標題 南極アイスコアの安定同位体比解析による周辺海域の温度復元	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Isotope News	6. 最初と最後の頁 18-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 PAGES2K Consortium (川村, 本山, 植村, 堀内を含む)	4. 巻 4
2. 論文標題 A global multiproxy database for temperature reconstructions of the Common Era	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Scientific Data	6. 最初と最後の頁 170088 ~ 170088
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/sdata.2017.88	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Seddik Hakime, Greve Ralf, Zwinger Thomas, Sugiyama Shin	4. 巻 11
2. 論文標題 Regional modeling of the Shirase drainage basin, East Antarctica: full Stokes vs. shallow ice dynamics	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The Cryosphere	6. 最初と最後の頁 2213 ~ 2229
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/sdata.2017.88	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 本山秀明	4. 巻 233
2. 論文標題 雪尺観測から見える氷床表面質量収支の変動	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 気象研究ノート第233号	6. 最初と最後の頁 193-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本山秀明	4. 巻 233
2. 論文標題 南極氷床内陸ドームふじ基地における特異な気温変動及び熱収支について	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 気象研究ノート第233号	6. 最初と最後の頁 377-386
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎	4. 巻 79(5)
2. 論文標題 グリーンランド沿岸の環境変化とその人間生活への影響	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 雪氷	6. 最初と最後の頁 443-449
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Bereiter Bernhard, Shackleton Sarah, Baggenstos Daniel, Kawamura Kenji, Severinghaus Jeff	4. 巻 553
2. 論文標題 Mean global ocean temperatures during the last glacial transition	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 39 ~ 44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature25152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Schmidt Gavin A., Severinghaus Jeff, Abe-Ouchi Ayako, Alley Richard B., Broecker Wallace, Brook Ed, Etheridge David, Kawamura Kenji, Keeling Ralph F., Leinen Margaret, Marvel Kate, Stocker Thomas F.	4. 巻 547
2. 論文標題 Overestimate of committed warming	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Nature	6. 最初と最後の頁 E16 ~ E17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature25152	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Noro Kazushi, Hattori Shohei, Uemura Ryu, Fukui Kotaro, Hirabayashi Motohiro, Kawamura Kenji, Motoyama Hideaki, Takenaka Norimichi, Yoshida Naohiro	4. 巻 52
2. 論文標題 Spatial variation of isotopic compositions of snowpack nitrate related to post-depositional processes in eastern Dronning Maud Land, East Antarctica	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 GEOCHEMICAL JOURNAL	6. 最初と最後の頁 e7 ~ e14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/nature22803	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uemura R., Motoyama H., Masson-Delmotte V., Jouzel J., Kawamura K., Goto-Azuma K., Fujita S., Kuramoto T., Hirabayashi M., Miyake T.i, Ohno H., Fujita K., Abe-Ouchi A., Iizuka Y., Horikawa S., Igarashi M., Suzuki K., Suzuki T., Fujii Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 Asynchrony between Antarctic temperature and CO2 associated with obliquity over the past 720,000 years	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Nature Communications	6. 最初と最後の頁 961
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2343/geochemj.2.0519	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 SAKAKIBARA DAIKI, SUGIYAMA SHIN	4. 巻 64
2. 論文標題 Ice front and flow speed variations of marine-terminating outlet glaciers along the coast of Prudhoe Land, northwestern Greenland	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Glaciology	6. 最初と最後の頁 300 ~ 310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41467-018-03328-3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平林幹啓	4. 巻 265
2. 論文標題 連続融解・分析装置による雪氷コアの分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 化学と教育	6. 最初と最後の頁 338-339
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川村賢二	4. 巻 76
2. 論文標題 南極のアイスコアから復元する過去の気候変動	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 低温科学	6. 最初と最後の頁 145-152
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/lowtemsci.76.145	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 飯塚芳徳	4. 巻 76
2. 論文標題 アイスコアによる海氷面積変動の復元	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 低温科学	6. 最初と最後の頁 153-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/lowtemsci.76.153	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎	4. 巻 76
2. 論文標題 南極氷床 その変動と海洋との相互作用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 低温科学	6. 最初と最後の頁 169-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/lowtemsci.76.169	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 杉山慎	4. 巻 76
2. 論文標題 南極氷床 その変動と海洋との相互作用	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 低温科学	6. 最初と最後の頁 169-178
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14943/lowtemsci.76.169	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計187件（うち招待講演 9件 / うち国際学会 120件）

1. 発表者名 植村 立、眞坂 昂佑、飯塚 芳徳、平林 幹啓、松井 仁志、松本 理誠、植村 美希、藤田 耕史、本山 秀明
2. 発表標題 最終氷期における南極ドームふじ氷床コアの硫酸塩エアロゾルの硫黄同位体を用いた起源推定：アタカマ砂漠からの寄与の可能性
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ryu Uemura, Kosuke Masaka, Yoshinori Iizuka, Motohiro Hirabayashi, Hitoshi Matsui, Risei Matsumoto, Miki Uemura, Koji Fujita, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Sulfur isotope ratio of sulfate aerosols in an Antarctic Dome Fuji ice core during the last glacial period: a potential contribution from the Atacama Desert
3. 学会等名 PAGES Open Science Meeting (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ayaka Yonekura, Kenji Kawamura, Ikumi Oyabu, Kyotaro Kitamura, Jun Ogata, Motohiro Hirabayashi, Kaori Fukuda, Yoshimi Tsukagawa, Tomotaka Saruya, Fumio Nakazawa, Shuji Fujita, Kumiko Goto-Azuma, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Reconstruction of atmospheric methane concentration during the penultimate glacial period (145-195ka) from continuous flow analysis (CFA) of the Dome Fuji ice core
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kenji Kawamura, Ayaka Yonekura, Ikumi Oyabu, Kyotaro Kitamura, Remi Dallmayr, Rachael Rhodes, Jun Ogata, Motohiro Hirabayashi, Kaori Fukuda, Kumiko Goto-Azuma, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Methane concentration in the Dome Fuji ice core measured by a continuous flow analysis system: method and initial results from the LGM to Holocene
3. 学会等名 IPICS Open Science Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ikumi Oyabu, Kenji Kawamura, Christo Buizert, Frederic Parrenin, Anais Orsi, Kyotato Kitamura, Shuji Aoki, Takakiyo Nakazawa
2. 発表標題 The Dome Fuji ice core DF2021 chronology (0-207 kyr BP)
3. 学会等名 IPICS Open Science Conference (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kenji Kawamura, on behalf of the Third Dome Fuji Project
2. 発表標題 Third Dome Fuji Deep Coring: an Oldest Ice Core
3. 学会等名 13th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Shin Sugiyama, Ken Kondo, Masahiro Minowa
2. 発表標題 Hot-water drilling and subglacial measurement at Langhovde Glacier in East Antarctica
3. 学会等名 JpGU online Meeting
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 杉山慎, 近藤研, 箕輪昌紘
2. 発表標題 南極ラングホブデ氷河における2021/22年の熱水掘削
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤研, 杉山慎, 箕輪昌紘
2. 発表標題 東南極ラングホブデ氷河における底面滑りの直接観測
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ken Kondo, Shin Sugiyama, Masahiro Minowa, Evgeny A Podolskiy
2. 発表標題 Direct observation of basal sliding at Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 AGU Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Matsui, H., Ikehara, M., Suganuma, Y., Seki, O., Oyabu, I., Kawamura, K.
2. 発表標題 Assessing dust-magnetic correlation in the Indian sector of the Southern Ocean
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ryo Inoue, Shuji Fujita, Kenji Kawamura, Jun Ogata, Motohiro Hirabayashi, Kaori Fukuda, Kyotaro Kitamura, Ayaka Yonekura, Kumiko Goto-Azuma, Fumio Nakazawa, Ikumi Oyabu, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Study of the formation of stratified firn on the snow surface near Dome Fuji, Antarctica, by multiple physicochemical analyses
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Oyabu, I., K. Kawamura, K. Kitamura, A. Orsi, and F. Parrenin, Buizert, C.
2. 発表標題 Climatic and atmospheric changes over the last three Terminations from O ₂ /N ₂ , 18Oatm and CH ₄ records of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ayaka Yonekura, Kenji Kawamura, Ikumi Oyabu, Kyotaro Kitamura, Jun Ogata, Motohiro Hirabayashi, Kaori Fukuda, Yoshimi Tsukagawa, Tomotaka Saruya, Fumio Nakazawa, Shuji Fujita, Kumiko Goto-Azuma, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Methane concentration in Dome Fuji ice core measured with a continuous flow analysis system
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Oyabu, I., Kawamura, K., Uchida, T., Fujita, S., Kitamura, K., Hirabayashi, M., Aoki, S., Morimoto, S., Nakazawa, T., Severinghaus, J. P., Morgan, J.
2. 発表標題 Fractionation of O ₂ /N ₂ and Ar/N ₂ in polar ice cores during bubble formation, bubble-clathrate hydrate transition, and gas loss during storage from precise gas measurements of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 米倉綾香, 川村賢二, 大藪幾美, 北村享太郎, 尾形純, 平林幹啓, 福田かおり, 塚川佳美, 猿谷友孝, 中澤文男, 藤田秀二, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 ドームふじアイスコアの連続分析により得られた約15万年前の水期におけるメタン濃度変動
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 内田努, 藤田秀二, 北村享太郎, 平林幹啓, 青木周司, 森本真司, 中澤高清
2. 発表標題 ドームふじ氷床コアにおけるO ₂ /N ₂ とAr/N ₂ の分別
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 飯塚芳徳, 北村享太郎, Margareta Hansson, Eric Wolff, Mirko Severi, 大垣内るみ, 阿部彩子, Remi Dallmayr, 北村 明弘, 沢田近子, Jeffrey P. Severinghaus, Ross Beaudette, Anais Orsi, 菅原敏, 石戸谷重之, Dorthe Dahl-Jensen, 東久美子, 青木周司, 中澤高清
2. 発表標題 アイスコアの気体や微粒子の解析に基づく気候変動の研究
3. 学会等名 日本地球化学会年会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Oyabu, I., Kawamura, K., Uchida, T., Fujita, S., Kitamura, K., Hirabayashi, M., Aoki, S., Morimoto, S., Nakazawa, T., Severinghaus, J. P., Morgan, J
2. 発表標題 Fractionation of O ₂ /N ₂ and Ar/N ₂ in the Antarctic ice sheet from precise gas measurements of the Dome Fuji ice core - Constraining permeabilities of O ₂ , N ₂ and Ar in the ice sheet with a simple diffusion model
3. 学会等名 12th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 K. Kondo, S. Sugiyama
2. 発表標題 Lateral migration of a flowstripe on the ice shelf of Shirase Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 JpGU online meeting (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 近藤研, 杉山慎
2. 発表標題 東南極リュッツォホルム湾における溢流水河変動に定着水が与える影響
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 津滝俊, 藤田秀二, 川村賢二, P. Gogineni, 阿部彩子, D. Braaten, J-C. Gallet, E. Isaksson, B. van Liefveringe, 松岡健一, C. O'Neil, J. Paden, F. Rodriguez-Morales, R.A. Taylor, J-B. Yan, 東久美子, R. Greve, S. Hudson, J. Kohler, S. Kolpuke, L. Li, G. Moholdt, 本山秀明, 小長谷貴志, 齋藤冬樹, 福井幸太郎
2. 発表標題 A basal topographic map in the Dome Fuji area, East Antarctica, constructed from a ground-based radar survey
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 S. Sugiyama, Minowa, M.
2. 発表標題 Hot-water drilling for exploring subglacial environment of the Antarctic ice sheet
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 阿部彩子, 小長谷貴志, 川村賢二, 藤田秀二, 齋藤冬樹, 津滝俊, P. Gogineni, D. Braaten, F. Rodriguez-Morales, J. Paden, 松岡健一, 本山秀明, R. Greve, B. van Liefveringe, R. Taylor
2. 発表標題 氷床モデリングとレーダーを組み合わせた100万年越え南極氷のドームふじ付近の探索
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 庭野匡思, 橋本明弘, 津滝俊, 本山秀明, 平沢尚彦, 阿部彩子
2. 発表標題 Estimation of the Antarctic ice sheet surface mass balance using the polar regional climate model NHM-SMAP
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ikumi Oyabu, Kenji Kawamura, Kyotaro Kitamura, Frederic Parrenin, Anais Orsi, Christo Buizert
2. 発表標題 Revising the Dome Fuji ice core chronology
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Ikumi Oyabu, Yoshinori Iizuka, Kenji Kawamura, Eric Wolff, Mirko Severi, Rumi Ohgaito, Ayako Abe-Ouchi, Margareta Hansson
2. 発表標題 Compositions of dust and sea salts in the Dome C and Dome Fuji ice cores from Last Glacial Maximum to early Holocene based on ice-sublimation and single-particle measurements
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Konosuke Sugiura, Hirotaka Tomita, Kengo Watanabe, Naohiko Hirasawa, Kenji Kawamura, Fumio Nakazawa, Hiroshi Ohno, Shuji Fujita, Ikumi Oyabu, Takashi Yamanouchi, Hideaki Motoyama
2. 発表標題 Estimation of snow surface patterns between Showa Station and Dome-Fuji Station of Antarctica using camera images
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4. 発表年 2020年

1 . 発表者名 K. Kawamura, A. Abe-Ouchi, S. Fujita, P. Gogineni, D. Braaten, J.-C. Gallet, K. Goto-Azuma, R. Greve, E. Isaksson, B. van Liefferinge, K. Matsuoka, H. Motoyama, F. Nakazawa, T. Obase, H. Ohno, I. Oyabu, J. Paden, F. Rodriguez-Morales, F. SAITO, R.A. Taylor, S. Tsutaki, Third Dome Fuji Project Committee
2 . 発表標題 Collaborative studies for locating the oldest ice near Dome Fuji, Antarctica
3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Kenji Kawamura, Ikumi Oyabu, Shuji Aoki, Takakiyo Nakazawa, Ayako Abe-Ouchi, Fuyuki SAITO
2 . 発表標題 Accurate chronology and climatic reconstruction around MIS 11 from the Dome Fuji ice core
3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ryo Inoue, Shuji Fujita, Kenji Kawamura, Fumio Nakazawa, Ikumi Oyabu
2 . 発表標題 Layering, densification and bubble close-off of firn at a new site near Dome Fuji, East Antarctica
3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Hiroki Matsui, Minoru Ikehara, Yusuke Suganuma, Osamu Seki, Jun'ichi Okuno, Ikumi Oyabu, Kenji Kawamura
2 . 発表標題 Cross-check of dust-magnetic correlation and oxygen isotope stratigraphy in the Southern Ocean
3 . 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2020 (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 S. Sugiyama
2 . 発表標題 Freshwater calving glaciers in Patagonia
3 . 学会等名 International Glaciological Society Global Seminar Series (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ayaka Yonekura, Kenji Kawamura, Ikumi Oyabu, Kyotaro Kitamura, Jun Ogata, Motohiro Hirabayashi, Kaori Fukuda, Kumiko Goto-Azuma, Hieaki Motoyama
2 . 発表標題 Continuous methane measurement by a Continuous Flow Analysis system
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ryo Inoue, Shuji Fujita, Kenji Kawamura, Fumio Nakazawa, Ikumi Oyabu
2 . 発表標題 Impact of density and microstructure on bubble close-off in layered firn at a new site near Dome Fuji, East Antarctica
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Ikumi Oyabu, Kenji Kawamura, Kyotaro Kitamura, Shuji Fujita, Tsutomu Uchida, Jeffrey P. Severinghaus, Jacob Morgan, Motohiro Hirabayashi
2 . 発表標題 Fractionation of O ₂ /N ₂ and Ar/N ₂ in polar ice cores during bubble formation, bubble-clathrate transition, and gas loss during storage from precise gas measurements of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Fujita S., Tsutaki S., K. Kawamura, A. Abe-Ouchi, K. Fukui
2 . 発表標題 On the choice of antennas for observation of bedrock topography below the ice sheet
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Tsutaki S., Fujita S., K. Kawamura, A. Abe-Ouchi, K. Fukui
2 . 発表標題 Basal topography in the Dome Fuji region derived from the ground-based radar survey
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 S. Sugiyama, Takakura, H., Konno, A.
2 . 発表標題 Impact of Arctic Environmental Change on Society
3 . 学会等名 11th Symposium on Polar Science (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1 . 発表者名 Giyeon Lee, Jinho Ahn ¹ , Hyuntae Joo, Florian Ritterbusch, Ikumi Oyabu, Songyi Kim, Kenji Kawamura, Zheng-Tian Lu, Sangyoung Han, Sambit Ghosh, Youngchul Han, Sangbeom Hong, Chang Hee Han, Soon Do Hur
2 . 発表標題 Searching for very old ice with continuous stratigraphy at Larsen Blue Ice Area, East Antarctica
3 . 学会等名 AGU Fall Meeting (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 津滝俊, 藤田秀二, 川村賢二, 阿部彩子, 福井幸太郎
2. 発表標題 地上氷床レーダ探査による南極ドームふじ周辺の基盤地形
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 藤田秀二, 津滝俊, 川村賢二, 阿部彩子, 福井幸太郎
2. 発表標題 氷床下の基盤地形探査におけるアンテナの選択の影響
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 東久美子, 尾形純, 福田かおり, 平林幹啓, 北村享太郎, 中澤文男, 小室悠紀, 塚川佳美, 藤田秀二, 米倉綾香, 川村賢二
2. 発表標題 アイスコア連続融解分析システムを用いたドームふじ深層氷床コアの高時間分解能固体微粒子分析
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 井上峻, 藤田秀二, 川村賢二, 中澤文男, 大藪幾美
2. 発表標題 南極ドームふじ近傍におけるフィルンの微細構造と気泡形成との関係
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 米倉綾香, 川村賢二, 大藪幾美, 北村享太郎, 尾形純, 平林幹啓, 福田かおり, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 連続融解分析法によるドームふじアイスコア中のメタン濃度の測定 - 最終氷期最寒期から完新世 -
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菅澤佳世, 三宅美沙, 多田悠馬, 堀内一穂, 大谷昴, 笹公和, 高橋努, 松村万寿美, 落合悠太, 高野健太, 望月優子, 高橋和也, 中井陽一, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 約100年分のドームふじアイスコア中 ^{10}Be と ^{36}Cl の高分解能測定によるBC5480年宇宙線イベントの調査
3. 学会等名 第81回応用物理学会秋季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 三宅美沙, 堀内一穂, 櫻井敬久, 望月優子, 中井陽一, 高橋和也, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 宇宙線生成核種を用いた紀元前 660 年頃の宇宙線イベントの調査
3. 学会等名 日本物理学会第75回年次大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 菅澤佳世, 三宅美沙, 多田悠馬, 堀内一穂, 大谷昴, 笹公和, 高橋努, 松村万寿美, 落合悠太, 望月優子, 高橋和也, 中井陽一, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 BC5480 年宇宙線イベントにおける ^{10}Be と ^{36}Cl の変動: ドームふじアイスコアからの証拠
3. 学会等名 応用物理学会春季学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kawamura K., Oyabu I., Aoki S., Nakazawa T., Abe-Ouchi A., Saito F.
2. 発表標題 Accurate Chronology and Climatic Reconstruction around MIS 11 from Gas Measurements of the Dome Fuji Ice Core, Antarctica,
3. 学会等名 AGU Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K., Orsi A., Parrenin F.
2. 発表標題 Penultimate glacial-interglacial transition from gas measurements of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 AGU Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Goto-Azuma K., Hirabayashi M., Motoyama H., Miyake T., Kuramoto T., Uemura R., Igarashi M., Iizuka Y., Sakurai T., Horikawa S., Suzuki K., Suzuki T., Fujita K., Kondo Y., Hattori S., Fujii, Y.
2. 発表標題 Reduced Marine Biogenic Sulphate Flux in East Antarctica during Glacial Periods - Based on Ion Chemistry Records from Dome Fuji Ice Core
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kinase T., Adachi K., Oshima N., Goto-Azuma K., Ogawa-Tsukagawa Y., Kondo Y., Moteki N., Ohata S., Mori T., Hayashi M., Hara K., Kawashima H., Kita, K.
2. 発表標題 Concentrations and Size Distributions of Black Carbon in the Surface Snow of Eastern Antarctica in 2011
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K., Orsi A., Parrenin F.
2. 発表標題 Timing of climatic events for Termination II from O2/N2, 180atm and CH4 records of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujita S., Goto-Azuma K., Hirabayashi M., Hori A., Iizuka Y., Motizuki Y., Motoyama H., Takahashi K, Enomoto H., Fukui K., Hoshina Y., Nakazawa F., Sugiyama S., Surdyk S.
2. 発表標題 Metamorphism of layered firn at Dome Fuji, Antarctica: Evolution of relations between Near-infrared reflectivity and the other textural/chemical properties.
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Fujita S., Kawamura K., Gogineni P., Abe-Ouchi A., Braaten D., Gallet JC., Isaksson E., van Liefferinge B., Matsuoka K., O'Neil C., Paden J., Rodriguez-Morales F., Taylor R A., Tsutaki S., Yan, JB., Goto-Azuma K., Greve R., Hudson S., Kohler J., Kolpuke S., Li L.
2. 発表標題 International studies of ice sheet and bedrock at Dome Fuji, East Antarctica
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawamura K., Abe-Ouchi A., Aoki S., Fujita K., Fujita S., Fukui K., Furukawa T., Furusaki A., Goto-Azuma K., Higuchi K., Hirabayashi M., Hirasawa N., Hori A., Horiuchi K., Iizuka Y., Matoba S., Miyahara M., Motoyama H., Nakazawa F., Niwano M., Ohno H., Oyabu I., Saito F., Sugiyama S., Suzuki T., 他5名
2. 発表標題 A paleo-environmental study in JARE Phase X - Deep ice coring in the Dome Fuji area for "Oldest Ice Core" -
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Saito F., Tsutaki S., Abe-Ouchi A., Obase T., Fujita S., Kawamura K.
2. 発表標題 Sensitivity studies of the position and elevation of Dome Fuji, Antarctica using a high-resolution numerical ice-sheet model with revising the bedrock topography data by JARE-59
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Tsutaki S., Motoyama H., Fujita S., Kawamura K., Abe-Ouchi A.
2. 発表標題 Spatiotemporal variability of surface mass balance along the JARE traverse route for 1992-2018
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Motoyama Hideaki, Kameda Takao, Hirasawa Naohiko
2. 発表標題 Note on air temperature measurement by automatic weather stations in Antarctica
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hara K., Osada K., Yabuki M., Matoba S., Nakazawa F., Fujita S., Hirabayashi M., Yamanouchi T.
2. 発表標題 Atmospheric sea-salt and halogen chemistry in the Antarctic region
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugiura K., Hirasawa N., Kurita N., Kawamura K., Nakazawa F., Ohno H., Fujita S., Oyabu I., Yamanouchi T., Motoyama H.
2. 発表標題 Fixed point observation for daily snow surface monitoring along a latitudinal transect from the coast to the inland of Antarctica using camera images
3. 学会等名 The 10th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kanzawa Kayo, Miyake Fusa, Tada, Yuma, Horiuchi Kazuho, Ohtani Kou, Sasa Kimikazu, Motizuki Yuko, Takahashi Kazuya, Nakai Yoichi, Motoyama Hideaki, Matsuzaki Hiroyuki
2. 発表標題 Variation of cosmogenic ^{10}Be for cosmic ray event in ~5480 BC from Antarctic Dome Fuji ice core
3. 学会等名 The 8th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Motoyama Hideaki
2. 発表標題 Drill system for the third deep ice coring project around Dome Fuji, Antarctica
3. 学会等名 8th International Ice Drill Symposium (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugiyama S., Minowa M., Aoki S.
2. 発表標題 Seasonal variations in temperature, salinity and current under the floating tongue of Langhovde Glacier in East Antarctica
3. 学会等名 Forum for Research into Ice Shelf Processes (FRISP) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅澤佳世, 三宅美沙, 多田悠馬, 堀内一穂, 大谷昂, 笹公和, 望月優子, 高橋和也, 中井陽一, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 ドームふじアイスコア中10Beと36Cl濃度の測定によるBC5480年宇宙線イベントの調査
3. 学会等名 日本物理学会2019年秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎
2. 発表標題 高精度ドームふじ氷床コア年代スケールの構築 (0 - 16.5 万年前)
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉山慎, 箕輪昌紘
2. 発表標題 南極ラングホブデ氷河の棚氷下における通年海洋観測
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部彩子, 小長谷貴志, 齋藤冬樹, 川村賢二, 津滝俊, 藤田秀二, 本山秀明, 渡辺泰, Greve R., シェリフ多田野サム, 木野佳音, Chan WL., 三ツ井孝仁
2. 発表標題 過去150 万年の氷期サイクル気候と古い南極氷探索のためのモデリング研究
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 阿部彩子, 小長谷貴志, 齋藤冬樹, 川村賢二, 津滝俊, 藤田秀二, 本山秀明, Greve R., 松岡健一
2. 発表標題 過去150 万年の南極Old Ice 探索のためのモデリング研究
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田秀二, 川村賢二, Gogineni P., 阿部彩子, Braaten D., Gallet JC., Isaksson E., van Liefferinge B., 松岡健一, 他18名
2. 発表標題 南極ドームふじ近傍における氷床と基盤に関する国際共同研究 (JARE60)
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川村賢二, 阿部彩子, 藤田秀二, 小長谷貴志, 齋藤冬樹, Greve R., 津滝俊, 中澤文男, 大藪幾美, 大野浩, 杉浦幸之助, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 氷床レーダー探査と浅層アイスコア, 氷床流動モデルに基づく南極ドームふじ近傍における「最古のアイスコア」掘削地点の検討
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津滝俊, 本山秀明, 阿部彩子, 藤田秀二, 川村賢二
2. 発表標題 JARE 内陸ルートにおける1992 - 2018年の表面質量収支の時空間変動
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津滝俊, 小長谷貴志, 藤田秀二, 阿部彩子, 川村賢二, 松岡健一, 大野浩, 大藪幾美, 中澤文男, 杉浦幸之助
2. 発表標題 JARE59 氷床レーダ探査による南極ドームふじ周辺の基盤地形
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本山秀明, 亀田貴雄, 平沢尚彦
2. 発表標題 南極での無人気象観測による気温測定の注意
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 長谷川大輔, 飯塚芳徳, 鈴木利孝, 藤田秀二
2. 発表標題 顕微ラマン分光法および走査型電子顕微鏡 - エネルギー分散型 X 線分析を用いた南極ドームふじアイスコアに含まれる微粒子の化学形態分析
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中澤文男, 東久美子
2. 発表標題 雪氷融解試料中の微生物固定を目的とした紫外線照射処理の検討
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大野浩, 杉浦幸之助, 山口悟, 八久保晶弘, 藤田秀二, 中澤文男, 大藪幾美, 川村賢二
2. 発表標題 JARE59 内陸トラバースルートにおける表面積雪SSA の広域観測
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 米倉綾香, 川村賢二, 大藪幾美, 北村享太郎, 尾形純, 平林幹啓, 福田かおり, 中澤文男, 大野浩, 杉浦幸之助, 藤田秀二, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 連続融解法によって得られたNDF 浅層コア中のメタン濃度
3. 学会等名 雪氷研究大会, 山形
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 本山秀明, 佐々木貢, 小林正幸, 弥富秀文, 平沢尚彦, 山田恭平, 川村賢二, 杉浦幸之助, 栗田直幸, 亀田貴雄
2. 発表標題 南極氷床上的の無人気象観測装置AWS展開に伴う問題点と対応策
3. 学会等名 第16回南極設営シンポジウム
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田秀二, 川村賢二, Gogineni P., 阿部彩子, Braaten D., Gallet J.C., Isaksson E., van Liefferinge B., 松岡健一, 他18名
2. 発表標題 International studies of ice sheet and bedrock at Dome Fuji, East Antarctica
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawamura K., Oyabu I., Nakazawa F., Fujita S., Yamada K., Kurita N., Tsutaki S., Ohno H., Sugiura K., Goto-Azuma K., Motoyama H., Abe-Ouchi A.
2. 発表標題 Spatial variation of surface mass balance over the last few millennia in the Dome Fuji area from the analyses of shallow ice cores
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kawamura K., Oyabu I., Aoki S., Nakazawa T., Abe-Ouchi A., Saito, F.
2. 発表標題 Accurate chronology and climatic reconstruction around MIS 11 (interglacial period 400,000 years ago) from Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川村 賢二, 東 久美子, 藤田 秀二, 中澤 文男, 大藪 幾美, 本山 秀明, 阿部 彩子
2. 発表標題 南極とグリーンランドにおける深層アイスコア掘削
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎
2. 発表標題 南極ドームふじ氷床コアの大気組成からみるターミネーション2の気候変動
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sugiyama S.
2. 発表標題 Mass loss of the Antarctic ice sheet under the influence of ice-ocean interaction
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田秀二, 平林幹啓, 飯塚芳徳, 大野浩
2. 発表標題 過去 7 2 万年間の気候変動情報を含むアイスコアの物理と層位および「最古の氷」の研究
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Xu Hongyang, Miyahara Hiroko, Horiuchi Kazuho, Matsuzaki Hiroyuki, Sun Hailong, Luo Weijun, Zheng Xiangmin, Sukanuma Yusuke, Wang Shijie, Zhou Limin
2. 発表標題 Examination of ^{10}Be in travertine sediment as a possible tool to reconstruct past solar activityII
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横山祐典, 山根雅子, 中村淳路, 宮入陽介, 堀内一穂, 阿瀬貴博, 松崎浩之, 白濱吉起, 安藤有加
2. 発表標題 地球表層物質の宇宙線生成核種(^{10}Be , ^{26}Al)の分析方法の改良と地球科学研究
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小長谷貴志, 阿部彩子, 齋藤冬樹, 津滝俊, 藤田秀二, 松岡健一, 川村賢二, Greve R.
2. 発表標題 次期南極深層コア掘削候補地選定のための氷床モデル計算
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津滝俊, 本山秀明, 阿部彩子, 藤田秀二, 川村賢二
2. 発表標題 patiotemporal variability of surface mass balance along the JARE traverse route for 1991 - 2019
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 津滝俊, 小長谷貴志, 藤田秀二, 阿部彩子, 川村賢二, 松岡健一, 大野浩, 大藪幾美, 中澤文男, 杉浦幸之助
2. 発表標題 A basal topographic map in the Dome Fuji region constructed from the ground-based radar survey in the JARE 5
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yonekura A., Oyabu I., Arai M., Kawamura K., Kitamura K., Ogata J., Goto-Azuma K.
2. 発表標題 Methane concentration measurements of the Dome Fuji ice core using Continuous Flow Analysis system
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名	杉浦幸之助, 渡辺健吾, 平沢尚彦, 川村賢二, 中澤文男, 大野浩, 藤田秀二, 大藪幾美, 山内恭, 本山秀明
2. 発表標題	Estimation of snow surface patterns from the coast to the inland, Dome-Fuji Station, of Antarctica, using camera images
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	中澤文男, 辻雅晴, 伊村智
2. 発表標題	極域アイスコアに眠る古代菌類の研究とその将来展望
3. 学会等名	日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K.
2. 発表標題	Timing of penultimate glacial-interglacial transition from gas measurements of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名	EGU General Assembly 2019 (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名	Fujita S., Kawamura K., Gogineni P., Abe-Ouchi A., Braaten D., Gallet JC., Isaksson E., van Liefferinge B., Matsuoka K., O'Neil C., Paden J., Rodriguez-Morales F., Taylor RA, Tsutaki S., Yan J.-B.
2. 発表標題	The Japan-Norway-USA radar collaboration team, at Dome Fuji, International studies of ice sheet and bedrock at Dome Fuji, East Antarctica
3. 学会等名	EGU General Assembly 2019 (国際学会)
4. 発表年	2019年

1. 発表者名 Kawamura K., Abe-Ouchi A., Fujita S., Obase T., Saito F., Greve R., Tsutaki S., Nakazawa F., Oyabu I., Ohno H., Sugiura K., Matsuoka K., Goto-Azuma K., Motoyama H.
2. 発表標題 Considerations for drilling site of an oldest ice core around Dome Fuji, Antarctica, based on radar sounding, shallow coring and ice-flow modeling
3. 学会等名 EGU General Assembly 2019 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川村賢二, 植村立, 本山秀明, 飯塚芳徳, 堀内一穂, 青木周司, 東久美子, 藤田秀二, 関宰, 平林幹啓, 中澤文男, 大藪幾美, 大野浩, 津滝俊, 阿部彩子
2. 発表標題 南極アイスコア等による古環境復元 ~ 2017年度の活動 ~
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田秀二, 川村賢二, 大野 浩, 大藪幾美, 中澤文男, 杉浦幸之助, 阿部彩子, 津滝俊, 齋藤冬樹, Greve Ralf, 本山秀明, 東久美子, 松岡健一
2. 発表標題 東南極Dome Fuji近傍の新たな深層氷床コア掘削候補地の探索とその今後の展望について
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中澤文男, 川村賢二, 大藪幾美, 大野 浩, 杉浦幸之助, 藤田秀二, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 JARE59における南極ドームふじ周辺3地点における浅層コア掘削
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎
2. 発表標題 南極ドームふじ氷床コアのO2/N2による年代決定の高精度化
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 東久美子, 川村賢二, 藤田秀二, 中澤文男, 本山秀明
2. 発表標題 南北両極におけるアイスコア掘削プロジェクト
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 飯塚芳徳、的場澄人, 古川峻仁, 安藤卓人, 齊藤健, Parvin F., 網野智美, 柴田麻衣, 門田萌, 関宰, 杉山慎, 植村立, 藤田耕史, 鶴田明日香, 服部祥平, 藤田秀二, 本山秀明, 永塚尚子, 大藪 幾美, 山口悟, 安達聖, 大野 宏, 堀彰, 宮本千尋, 高橋 嘉夫, 佐々木千晶, 鈴木利孝, Bautista VII A., 松崎浩之, 堀内一穂, 他8名
2. 発表標題 グリーンランド南東部、高涵養量ドームにおける浅層アイスコアプロジェクトの概要と研究成果
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎, 森本真司, 青木周司, 藤田 遼、菅原 敏, 本山秀明, 櫻井俊光, 荒井美穂
2. 発表標題 東南極沿岸のH128地点で採取されたフィルン空気の組成
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津滝俊, 阿部彩子, 本山秀明, 川村賢二, シェリフ多田野サム
2. 発表標題 南極氷床JAREトラバースルートにおける1992 - 2013年の涵養量の時空間変動
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 津滝俊, 阿部彩子, Greve Ralf, 齋藤冬樹, Blatter Heinz, 小長谷貴志, 藤田秀二, 川村賢二, 松岡健一
2. 発表標題 南極氷床ドームふじ基地周辺における"最古の氷"アイスコア探索に関する数値実験
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Greve R., Saito F., Tsutaki S., Obase T., Abe-Ouchi A.
2. 発表標題 Response of the Antarctic ice sheet to increased sub-ice-shelf melt rates
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sugiyama S., Minowa M., Ito M., Yamane S., Aoki S., Tamura T.
2. 発表標題 Hot water drilling and subshelf measurements at Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三宅美沙, 堀内一穂, 櫻井敬久, 増田公明, 本山秀明, 松崎浩之, 望月優子, 高橋和也, 中井陽一
2. 発表標題 ドームふじアイスコアの10Be分析による単年宇宙線イベントの調査II
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎俊嗣, 櫻本晋洋, 堀内一穂, 菅沼悠介
2. 発表標題 DRM lock-in depth and magnetofossils
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植村立, 眞坂昂佑, 松本理誠, 植村美希, 飯塚芳徳, 平林幹啓, 本山秀明
2. 発表標題 最終退氷期におけるドームふじアイスコア中の硫黄同位体分析: 硫酸エアロゾルの起源推定
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 植村立, 本山秀明, Masson-Delmotte Valerie, Jouzel Jean, 川村賢二, 東久美子, 藤田秀二, 倉元隆之, 平林幹啓, 三宅隆之, 大野浩, 藤田耕史, 阿部彩子, 飯塚芳徳, 堀川信一郎, 五十嵐誠, 鈴木啓助, 鈴木利孝, 藤井理行
2. 発表標題 720,000-year records of Antarctic and oceanic temperatures related to solar forcing and CO2
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会 (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Shohei H., Tsuruta A., Iizuka Y., Uemura R., Matoba S., Yoshida N.
2. 発表標題 Nitrogen isotope of nitrate in Arctic ice core and its relation to past anthropogenic energy shift
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 堀内一穂
2. 発表標題 極域アイスコアに記録されたフェムトレベル同位体の天然および人為的変動
3. 学会等名 第66回質量分析総合討論会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉山慎, 箕輪昌紘, 伊藤優人, 山根志織
2. 発表標題 南極ラングホブデ氷河における熱水掘削
3. 学会等名 雪氷学会北海道支部研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山根志織, 杉山慎, 箕輪昌紘, 伊藤優人
2. 発表標題 南極ラングホブデ氷河における氷河下の海洋環境
3. 学会等名 雪氷学会北海道支部研究発表会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高田守昌, 本山秀明
2. 発表標題 氷床コア深層掘削機の電装部の開発 - 3500mケーブル通信と試作 -
3. 学会等名 日本雪氷学会北信越支部大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seki O.
2. 発表標題 Paleoclimatic Implication for Role and Impact of Biogenic VOC Feedback on Global Warming
3. 学会等名 Gordon Research Conference: Biogenic Hydrocarbon and the Atmosphere (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seki O., Yamamoto M., Ikehara M., Sugisaki S., Itaki T., Sugauma Y., Horikawa K.
2. 発表標題 Reconstruction of Antarctic Ice Sheet Variability during the Last Interglacial
3. 学会等名 SCAR/IASC Open Science Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujita S.
2. 発表標題 Japanese plans/ideas for oldest ice
3. 学会等名 IPICS Oldest ice workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujita S., Fukui K., Hirabayashi M., Iizuka Y., Matoba S., Miyamoto A., Motoyama H., Saito T., Suzuki: T.
2. 発表標題 Evolution in Geometry of Firn in Ice Sheets Detected by Dielectric Anisotropy
3. 学会等名 SCAR/IASC Open Science Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K.
2. 発表標題 A Revised Chronology of the Dome Fuji Ice Core from O ₂ /N ₂ of Trapped Air
3. 学会等名 SCAR/IASC Open Science Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山根志織, 杉山慎, 箕輪昌紘, 伊藤優人
2. 発表標題 南極ラングホブデ氷河における氷河下の海洋環境
3. 学会等名 日本海洋学会2018年度秋季大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高野健太, 笹公和, 高橋努, 松村万寿美, 落合悠太, 末木啓介, 三宅美沙, 堀内一穂, 松崎浩之
2. 発表標題 宇宙線生成核種 ¹⁰ Be と ³⁶ Clを用いた5480 BC宇宙線イベントの原因解明に向けた研究
3. 学会等名 日本地球化学会第65回年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平林幹啓, 尾形純, 東久美子, 鹿籠 康行
2. 発表標題 ICP質量分析計を接続した連続融解分析装置による雪氷コアの分析
3. 学会等名 日本分析化学会第67年会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Minowa M., Sugiyama S., Podolskiy A. E.
2. 発表標題 Tidally controlled ice dynamics observed at the floating tongue of Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 32nd Forum for Research into Ice Shelf Processes workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Minowa M., Sugiyama S., Ito M., Yamane S., Aoki S., Tamura T.
2. 発表標題 Water Properties and Circulation Underneath a Floating Tongue of Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 32nd Forum for Research into Ice Shelf Processes workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Umezawa T., Sugawara S., Kawamura K., Sugiyama T., Patra P. K., Ishijima K., Saito T., Machida T., Morimoto S., Aoki S., Nakazawa T.
2. 発表標題 Past variations of atmospheric methane and its isotope ratios reconstructed from firn air and ice core measurements
3. 学会等名 15th IGAC SC (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田秀二, 川村賢二, 大野 浩, 大藪幾美, 中澤文男, 杉浦幸之助, 阿部彩子, 津滝 俊, 小長谷 貴志, 齋藤冬樹
2. 発表標題 東南極Dome Fuji 近傍の新たな深層氷床コア掘削候補地の探索とその今後の展望について
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平林幹啓, 尾形純, 東久美子, 鹿籠康行
2. 発表標題 ICP 質量分析計を接続した連続融解分析装置による多元素同時定量
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中澤文男, 川村賢二, 大藪幾美, 大野浩, 杉浦幸之助, 藤田秀二, 東久美子, 本山秀明
2. 発表標題 JARE59で実施した南極ドームふじ周辺3地点における浅層コア掘削
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西野沙織, 荒井美穂, 鈴木利孝, 飯塚芳徳, 平林幹啓, 川村賢二, 本山秀明
2. 発表標題 南極H128 地点の積雪中金属成分から探るエアロゾル輸送
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 本山秀明, 平沢尚彦, 杉浦幸之助, 川村賢二, 青木輝夫, 亀田貴雄
2. 発表標題 南極での無人気象観測による観測データの注意点について
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 米倉綾香, 鈴木利孝, 飯塚芳徳, 平林幹啓, 本山秀明, 川村賢二
2. 発表標題 南極ドームふじ深層氷コア中のAl/Dust 比の経年変動
3. 学会等名 雪氷研究大会 (2018・札幌)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujita S.
2. 発表標題 Suggestions for a plan of the radar surveys in 2018/2019 season
3. 学会等名 The 2018 Joint Meeting of The 3rd Dome Fuji Deep Ice Coring Project and Grant-Aid for Scientific Research Project "Giant Reservoirs - Antarctic" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Fujita S.
2. 発表標題 Knowledge of glaciological conditions in Dome Fuji area based on observations by JARE for a period from IPY traverse until 2017/2018 season
3. 学会等名 The 2018 Joint Meeting of The 3rd Dome Fuji Deep Ice Coring Project and Grant-Aid for Scientific Research Project "Giant Reservoirs - Antarctic" (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yokoyama Y., Tsunekawa R., Takahashi S., Miyairi Y., Aze T., Horiuchi K., Motoyama H.
2. 発表標題 Past geomagnetic field reconstructions using cosmogenic radio nuclides in the Antarctic ice core
3. 学会等名 Heavy Ion Accelerator Symposium on Fundamental and Applied Science - 2018 (HIAS 2018) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motoyama H., Hirasawa N., Sugiura K., Kawamura K., Aoki T., Kameda T., Enomoto H.
2. 発表標題 Notes on observational data from automatic weather stations in Antarctica
3. 学会等名 AGU Fall Meeting (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sugiyama S., Minowa M., Ito M., Yamane S., Tamura T., Aoki S.
2. 発表標題 Hot water drilling at Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Minowa M., Sugiyama S., Ito M., Yamane S., Aoki S.
2. 発表標題 Direct measurements of water properties underneath a floating tongue of Langhovde Glacier, East Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Minowa M., Sugiyama S., Podolskiy A. E.
2. 発表標題 Tidally controlled vertical ice motion generate seismicity near a terminus of a floating tongue, East Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yamane S., Sugiyama S., Minowa M., Ito M., Hirano D.
2. 発表標題 Impact on outlet glaciers by breakup of land-fast sea ice in Lutzow-Holm Bay, East Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motoyama H., Hirasawa N., Sugiura K., Kawamura K., Aoki T., Kameda T., Enomoto H.
2. 発表標題 Notes on observational data from automatic weather stations in Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Motoyama H., Kawamura K., Sakurai T., Sudo K., Arai M., Suzuki T., Hirabayashi M., Fujita S.
2. 発表標題 Dating of coastal ice cores drilled by Japanese Antarctic Research Expedition and environmental change study
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa F., Kawamura K., Oyabu I., Ohno H., Sugiura K., Fujita S., Goto-Azuma K., Motoyama H.
2. 発表標題 Shallow ice core drillings at three sites near the Dome Fuji station, Antarctica, carried out during the summer season of JARE-59
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Obase T., Abe-Ouchi A., Saito F., Tsutaki S., Fujita S., Matsuoka K., Kawamura K.
2. 発表標題 An ice-flow modeling study for evaluation of sites for an oldest ice core around Dome Fuji, Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K.
2. 発表標題 Timing of penultimate glacial-interglacial transition from gas measurements of the Dome Fuji ice core, Antarctica
3. 学会等名 The 1st GRAntarctic International Symposium and the 9th Symposium on Polar Science (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三宅美沙, 堀内一穂, 望月優子, 中井陽一, 高橋和也, 増田公明, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 ドームふじアイスコアの一年分解能 10Be データにみられる AD993/994 宇宙線イベント
3. 学会等名 第21回AMSシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高野健太, 笹公和, 高橋努, 細谷青児, 落合悠太, 戸崎裕貴, 堀内一穂, 末木啓介
2. 発表標題 南極ドームふじアイスコア中の5480 BCイベント周辺における宇宙線生成核種 ³⁶ Clフラックス
3. 学会等名 第21回AMSシンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 三宅美沙, 堀内一穂, 望月優子, 中井陽一, 高橋和也, 増田公明, 本山秀明, 松崎浩之
2. 発表標題 南極ドームふじアイスコアの ¹⁰ Be濃度単年分析による993/994年宇宙線イベントの検出
3. 学会等名 日本物理学会第74回年次大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Seki O.
2. 発表標題 Link between Southern Ocean warming and ice loss from East Antarctica during late Pleistocene super interglacials
3. 学会等名 The Second Zunoujinkan Workshop -Cenozoic land-ocean linkages in Asia and the western Pacific and Indian Oceans: relationship with global climate change- (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Iizuka M., Seki O., Itaki T., Horikawa K., Yamamoto M., Ikehara M., Sugisaki S., Sugauma Y.
2. 発表標題 Reconstruction of Antarctic ice shelf variability during the Last Interglacial
3. 学会等名 The Second Zunoujinkan Workshop -Cenozoic land-ocean linkages in Asia and the western Pacific and Indian Oceans: relationship with global climate change- (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Goto-Azuma K., Nakazawa F., Hirabayashi M., Ogata J., Ogawa-Tsukagawa Y., Fukuda K.,
2. 発表標題 Calibration of micro-particle analysers for ice core studies
3. 学会等名 EGU General Assembly 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K.,
2. 発表標題 A revised chronology of the Dome Fuji ice core (80-165 ka) from O2/N2 of trapped air
3. 学会等名 5th PAGES Open Science Meeting (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川村賢二, アイスコアコンソーシアム
2. 発表標題 100万年超を目指した深層アイスコア掘削と気候復元研究
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川村賢二, 阿部彩子, 本山秀明
2. 発表標題 ドームふじアイスコアプロジェクト, 南極ドームふじアイスコアの解析から得られた過去72万年間における気候の不安定性と平均状態の関係
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川村賢二, 杉山慎, 植村立, 本山秀明, 澤柿教伸, 飯塚芳徳, 堀内一穂, 青木周司, 東久美子, 藤田秀二, 関宰, 平林幹啓, 大藪幾美
2. 発表標題 南極氷床と気候の変動及び相互作用に関する研究展望
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎
2. 発表標題 南極ドームふじ氷床コアの02/N2による年代決定の高精度化 (8~16.5万年前)
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 東久美子, 北村享太郎, 青木周司, 中澤高清, Brook E.J., Blunier T.
2. 発表標題 グリーンランドNEEM氷床コアと南極ドームふじ氷床コアによる完新世のメタン濃度の復元
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Sugiyama S., Fukamachi Y., Ohshima K. I., Aoki S., Aoki T., Yamamoto-Kawai M., Kikuchi T., Hirano D.
2. 発表標題 Abrupt changes and interactions of polar oceans and ice sheets as a research subject in Master Plan 2020
3. 学会等名 JpGU-AGU Joint Meeting 2017 (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 植村立, ドームふじ氷床コア研究グループ
2. 発表標題 過去70万年間の南極と南大洋における年平均日射量に対する温度変動の応答
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2017年大会(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Goto-Azuma K., Hirabayashi M., Ogata J., Kitamura K., Kawamura K., Ogawa-Tsukagawa Y., Dallmayr R., Nakazawa F., Fukuda K., Arai M., Fujita S., Motoyama H.
2. 発表標題 High resolution analyses of the Dome Fuji deep ice-core using a Continuous Flow Analysis (CFA) System
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2018年大会(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 川村賢二, 本山秀明, 阿部彩子, ドームふじアイスコアコンソーシアム
2. 発表標題 南極ドームふじ氷床コアから探る過去72万年間における気候の不安定性と平均状態の関係
3. 学会等名 日本第四紀学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kawamura K. (DomeFuji Ice Core Project)
2. 発表標題 State dependence of climatic instability over the past720,000 years from Antarctic ice cores and climate modelling
3. 学会等名 French-Russienglaciology seminar(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Uemura R., Dome Fuji ice core research group
2. 発表標題 Changes in Antarctic temperature and carbon dioxide over the glacial cycles
3. 学会等名 Frontiers of Science Symposium (Japanese-American-German, JAGFoS, JSPS先端科学シンポジウム) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Oyabu I., Kawamura K., Kitamura K.
2. 発表標題 On the O2/N2 chronology of the Dome Fuji ice cores
3. 学会等名 French-Russian glaciology seminar (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 堀内一穂, 笹公和, 松崎浩之
2. 発表標題 松山期の宇宙線強度変動とアイスコア研究の意義
3. 学会等名 第3期ドーム計画および南極新学術氷床班合同キックオフミーティング
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤田秀二
2. 発表標題 南極ドームふじ深層コアの結晶主軸方位分布の鉛直集中度に記録された過去約10万年間の積雪堆積時の変態強度
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 大藪幾美, 川村賢二, 北村享太郎
2. 発表標題 南極ドームふじ氷床コアのO2/N2による年代精度向上-高分解能分析によるO2/N2の変動メカニズムの考察-
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本山秀明, 鈴木利孝, 福井幸太郎, 大野浩, 保科優, 平林幹啓, 藤田秀二
2. 発表標題 JARE54にて採取した30mアイスコアの年代決定と環境変動
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本山秀明, 青木輝夫, 庭野匡思, 的場澄人, 杉山慎, 山口悟, 平沢尚彦, 川村賢二, 三戸洋介, 藤原宏章, 小野文睦, 森陽樹
2. 発表標題 極域での無人気象観測: グリーンランドSIGMAと南極JARE
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 本山秀明, 古崎睦, 高田守昌, 的場澄人, 高橋昭好, 田中洋一, 宮原盛厚, 新堀邦夫, 森章一, 川村賢二
2. 発表標題 国内外の氷コア掘削メカニカルドリルと検層装置について
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 鈴木利孝, 庄司愛理, 柴田麻衣, 飯塚芳徳, 平林幹啓, 川村賢二, 本山秀明
2. 発表標題 南極ドームふじ南方における氷床表面中の金属成分
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 米倉綾香, 鈴木利孝, 飯塚芳徳, 平林幹啓, 川村賢二, 本山秀明
2. 発表標題 南極ドームふじ深層氷コア中の金属成分と微粒子濃度の関係
3. 学会等名 雪氷研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 平林幹啓, 東久美子, Remi Dallmayr, 尾形純, 塚川佳美, 北村享太郎, 川村賢二
2. 発表標題 連続融解・分析装置による雪氷コアの分析
3. 学会等名 日本分析化学会66年会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Takano K., Sasa K., Takahashi T., Tosaki Y., Ota Y., Hosoya S., Ochiai Y., Sueki K., Horiuchi K.
2. 発表標題 36Cl record in the Antarctic ice core around the cosmic-ray event of 5480 BC and improved 36Cl AMS at the University of Tsukuba
3. 学会等名 The 7th East Asia Accelerator Mass Spectrometry Symposium (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Motoyama H., Suzuki T., Fukui K., Ohno H., Hoshina Y., Hirabayashi M., Fujita S.
2. 発表標題 Dating of 30m ice cores drilled by Japanese Antarctic Research Expedition and environmental change study
3. 学会等名 AGU Fall Meeting 2017
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Motoyama H., Suzuki T., Fukui K., Ohno H., Hoshina Y., Hirabayashi M., Fujita S.
2. 発表標題 Dating of 30m ice cores drilled by Japanese Antarctic Research Expedition and environmental change study
3. 学会等名 第8回極域科学シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Goto-Azuma K., Hirabayashi M., Ogata J., Kitamura K., Kawamura K., Ogawa-Tsukagawa Y., Nakazawa F., Fukuda K., Arai M., Fujita S., Motoyama H.
2. 発表標題 Analyses of the second Dome Fuji deep ice-core with an improved CFA (Continuous Flow Analysis) system
3. 学会等名 第8回極域科学シンポジウム (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高野健太, 笹公和, 高橋努, 細谷青児, 落合悠太, 戸崎裕貴, 堀内一穂, 末木啓介
2. 発表標題 南極ドームふじアイスコア中の5480 BCイベント周辺における宇宙線生成核種 ³⁶ Clフラックス
3. 学会等名 第20回AMSシンポジウム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 堀内一穂
2. 発表標題 10Beから見た過去の宇宙線変動
3. 学会等名 「宇宙線考古学」研究会
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 堀内一穂
2. 発表標題 ドームふじアイスコアを対象にした高解像度10Be分析の現状
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 藤田秀二, 川村賢二, 大野浩, 大藪幾美, 中澤文男, 杉浦幸之助, 阿部彩子, 津滝俊, 齋藤冬樹, Greve R., 本山秀明, 東久美子, 松岡健一
2. 発表標題 東南極Dome Fuji 近傍の新たな深層氷床コア掘削候補地の探索とその今後の展望について(速報)
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 藤田秀二
2. 発表標題 ドームふじコアの結晶主軸方位分布の発達 - マイクロ波帯の誘電率テンソルの連続解析による最近の結果から -
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 藤田秀二
2. 発表標題 ドームふじコアの結晶主軸方位分布の発達 –マイクロ波帯の誘電率テンソルの連続解析による最近の結果から–
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 藤田秀二
2. 発表標題 ドームふじコアの結晶主軸方位分布の発達 –マイクロ波帯の誘電率テンソルの連続解析による最近の結果から–
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

1. 発表者名 藤田秀二
2. 発表標題 ドームふじコアの結晶主軸方位分布の発達 –マイクロ波帯の誘電率テンソルの連続解析による最近の結果から–
3. 学会等名 研究集会「南極ドームふじ氷床深層アイスコアの解析による気候・環境変動の研究の新展開」
4. 発表年 2017年～2018年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 杉山 慎	4. 発行年 2021年
2. 出版社 中央公論新社	5. 総ページ数 256
3. 書名 南極の氷に何が起きているか	

1. 著者名 本山秀明、川村賢二（執筆分担）、南極OB会編集委員会編	4. 発行年 2019年
2. 出版社 成山堂書店	5. 総ページ数 270
3. 書名 南極読本（改訂増補）：ペンギン、海氷、オーロラ、隕石、南極観測のすべてが分かる	

1. 著者名 堀内一穂（一部執筆）：日本加速器学会編	4. 発行年 2018年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 596
3. 書名 加速器ハンドブック（15.8 古環境・古気候研究）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>新学術領域ホームページ http://grantarctic.jp https://polaris.nipr.ac.jp/~grantarctic/</p>
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	植村 立 (Uemura Ryu) (00580143)	名古屋大学・環境学研究科・准教授 (13901)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	本山 秀明 (Motoyama Hideaki) (20210099)	国立極地研究所・研究教育系・教授 (62611)	
研究分担者	杉山 慎 (Sugiyama Shin) (20421951)	北海道大学・低温科学研究所・教授 (10101)	
研究分担者	澤柿 教伸 (Sawagaki Takanobu) (70312410)	法政大学・社会学部・准教授 (32675)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	飯塚 芳徳 (Iizuka Yoshinori) (40370043)	北海道大学・低温科学研究所・准教授 (10101)	
研究協力者	堀内 一穂 (Horiuchi Kazuho) (00344614)	弘前大学・理工学研究科・准教授 (11101)	
研究協力者	青木 周司 (Aoki Shuji) (00183129)	東北大学・理学研究科・教授 (11301)	
研究協力者	東 久美子 (Azuma Kumiko) (80202620)	国立極地研究所・研究教育系・教授 (62611)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	藤田 秀二 (Fujita Shuji) (30250476)	国立極地研究所・研究教育系・教授 (62611)	
研究協力者	関 宰 (Seki Osamu) (30374648)	北海道大学・低温科学研究所・准教授 (10101)	
研究協力者	平林 幹啓 (Hirabayashi Motohiro) (20399356)	国立極地研究所・研究教育系・特任助手 (62611)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
				他1機関
米国	オレゴン州立大学	スクリップス海洋研究所	アラバマ大学	
ノルウェー	ノルウェー極地研究所			
韓国	ソウル大学			
オーストラリア	ニューサウルウェールズ大学			
スイス	ベルン大学			
デンマーク	コペンハーゲン大学			
フランス	LSCE	IGE		